

「結婚」に関するアンケート調査報告書

令和元年 12 月 26 日

都城市 総合政策部 総合政策課

目次

1. 調査概要

- (1) 調査の目的
- (2) 調査方法と回収結果

2. 調査結果

(1) 回答者の属性

- ① 性別
- ② 年齢
- ③ 職業
- ④ 雇用形態
- ⑤ 年収

(2) 独身者の意識

- ① 独身者の属性
- ② 独身者の結婚意志
- ③ 異性との交際状況
- ④ 独身である理由
- ⑤ 婚活の状況
- ⑥ 結婚に対するイメージ
- ⑦ 理想の出会い方
- ⑧ 婚活イベントについて
- ⑨ 独身者のライフスタイル
- ⑩ 趣味型交流について
- ⑪ 結婚支援に有効な施策

(3) 既婚者の意識

- ① 既婚者の属性
- ② 結婚年数
- ③ 出会いのきっかけ
- ④ 結婚の決め手
- ⑤ 交際期間
- ⑥ 子ども数・出産年齢
- ⑦ 理想の子ども数
- ⑧ 理想の子ども数に対して実際の子どもの数が少ない理由
- ⑨ 家事・育児の分担

3. まとめ

1. 調査概要

(1) 調査の目的

少子化が急速に進む中、本市においても、次代の社会を担う子どもを安心して産み、健やかに育てられる環境づくりを地域ぐるみで進めることは、喫緊の課題となっています。

そこで、平成 28 年 3 月に策定した「都城市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、「“都城で育てたい”に応える～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」を基本目標の一つとして掲げ、「出会いの機会を充実し、婚活を支援する」施策を位置付けたところです。

同時に平成 28 年度から、国の地域少子化対策重点推進交付金を活用し、結婚を希望する独身者への出会いの場の提供や、結婚に関する相談・支援体制を強化する婚活サポート事業を実施しています。

こうした中で、本アンケート調査は、市内の若者の結婚に対する意識等を調査し、これらの支援策の基礎資料として活用し、少子化対策事業をさらに推進する目的で実施しました。

(2) 調査方法と回収結果

調査方法は以下のとおり。

調査地域	都城市全域
調査対象	令和元年 8 月 1 日現在の住民基本台帳から抽出した 20 歳以上 39 歳以下の市民 3,000 人（男 1,555 女 1,445） <年齢別の抽出方法> ・全ての年代で均等にニーズを把握したいことから、20～24 歳、25 歳～29 歳、30 歳～34 歳、35 歳～39 歳からそれぞれ各 750 人ずつ抽出
調査方法	インターネット回答
調査期間	令和元年 9 月 21 日（土）～令和元年 10 月 4 日（金）

回収結果は以下のとおり。

配布数	3,000 通
回収数	601
回収率	20.0%

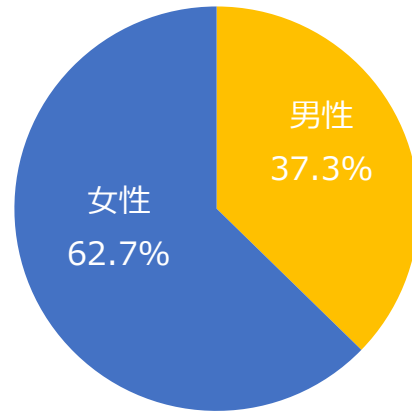
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、合計値が 100.0%にならない場合があります。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数を表しています。

2. 調査結果

(1) 回答者の属性

①性別・・・問1. あなたの性別を教えてください。

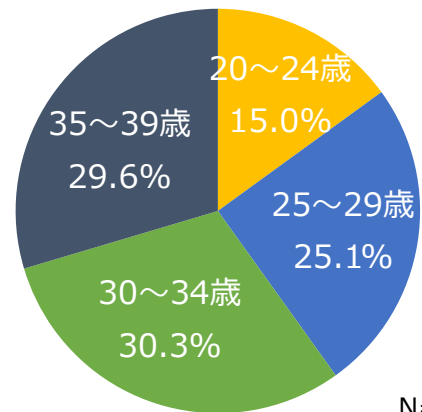
	回答数	%
男性	224	37.3%
女性	377	62.7%
計	601	100.0%



N=601

②年齢・・・問2. あなたの年齢を教えてください。

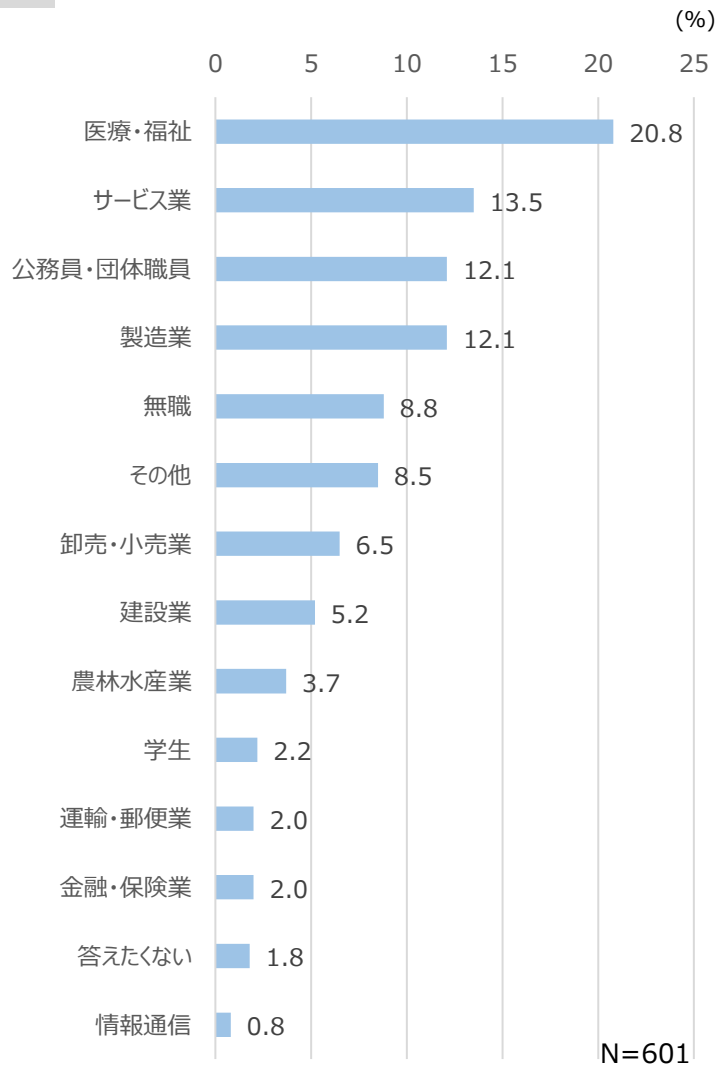
	回答数	%
20～24歳	90	15.0%
25～29歳	151	25.1%
30～34歳	182	30.3%
35～39歳	178	29.6%
計	601	100.0%



N=601

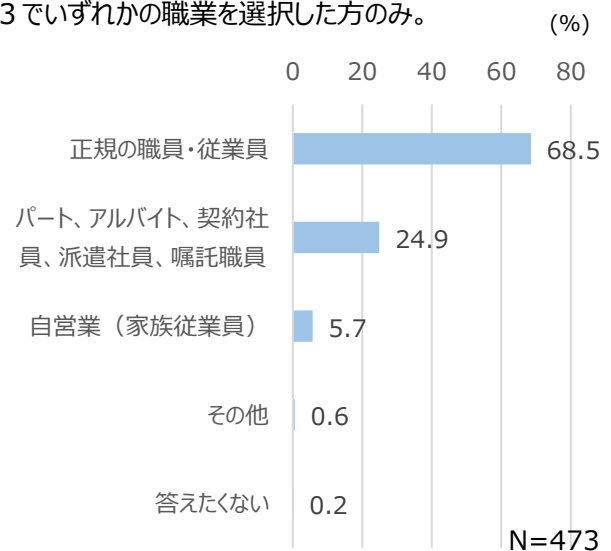
③職業・・・問3. あなたの主たる職業を教えてください。

	回答数	%
医療・福祉	125	20.8%
サービス業	81	13.5%
公務員・団体職員	73	12.1%
製造業	73	12.1%
無職	53	8.8%
その他	51	8.5%
卸売・小売業	39	6.5%
建設業	31	5.2%
農林水産業	22	3.7%
学生	13	2.2%
運輸・郵便業	12	2.0%
金融・保険業	12	2.0%
答えたくない	11	1.8%
情報通信	5	0.8%
計	601	100.0%



④雇用形態・・・問4. あなたの働き方を教えてください。 ※問3でいずれかの職業を選択した方のみ。

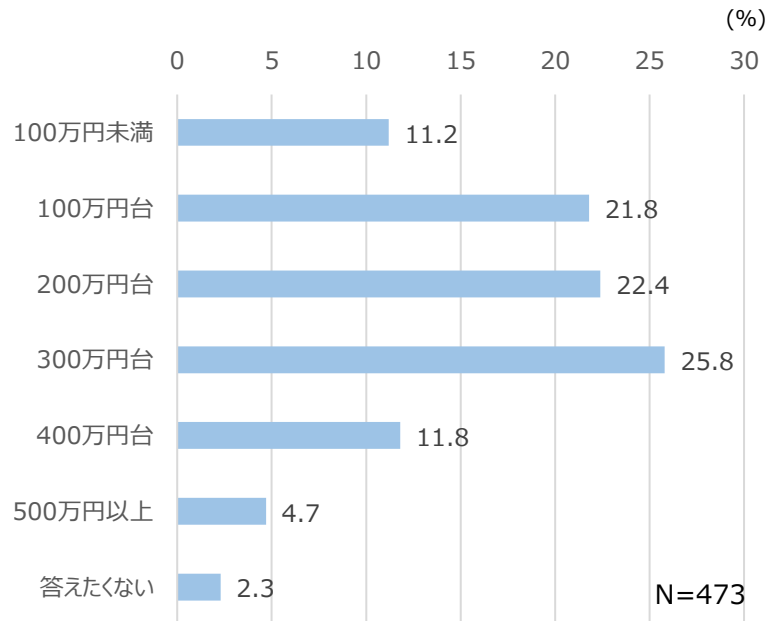
	回答数	%
正規の職員・従業員	324	68.5%
パート、アルバイト、契約社員、 派遣社員、嘱託職員	118	24.9%
自営業（家族従業員）	27	5.7%
その他	3	0.6%
答えたくない	1	0.2%
計	473	100.0%



⑤年収・・・問 5. あなたのおおよその年収を教えてください。

※問 3 でいずれかの職業を選択した方のみ。

	回答数	%
100万円未満	53	11.2%
100万円台	103	21.8%
200万円台	106	22.4%
300万円台	122	25.8%
400万円台	56	11.8%
500万円以上	22	4.7%
答えたくない	11	2.3%
計	473	100.0%



<回答者属性の傾向>

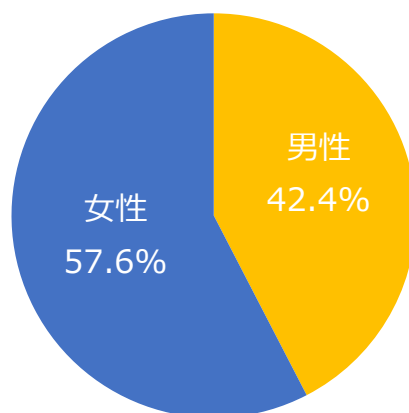
- ・回答者全体の職業をみると、「医療・福祉」が 20.8%と最も多く、次いで「サービス業」、「公務員・団体職員」「製造業」の割合が高い。
- ・回答者の約 7 割（68.5%）は、「正規の職員・従業員」として勤務しており、おおよその年収は「300万円台」が 25.8%と最も多い。

(2) 独身者の意識

①独身者の属性

(ア) 性別

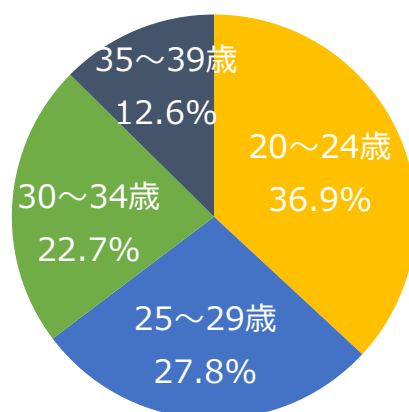
	回答数	%
男性	84	42.4%
女性	114	57.6%
計	198	100.0%



N=198

(イ) 年齢

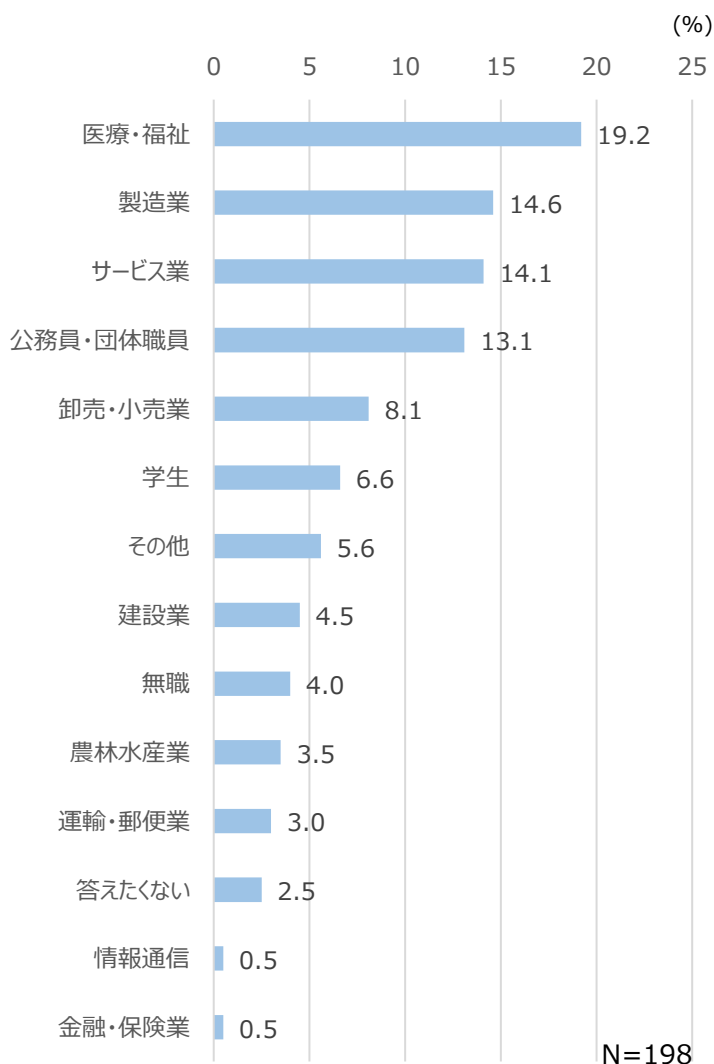
	回答数	%
20～24歳	73	36.9%
25～29歳	55	27.8%
30～34歳	45	22.7%
35～39歳	25	12.6%
計	198	100.0%



N=198

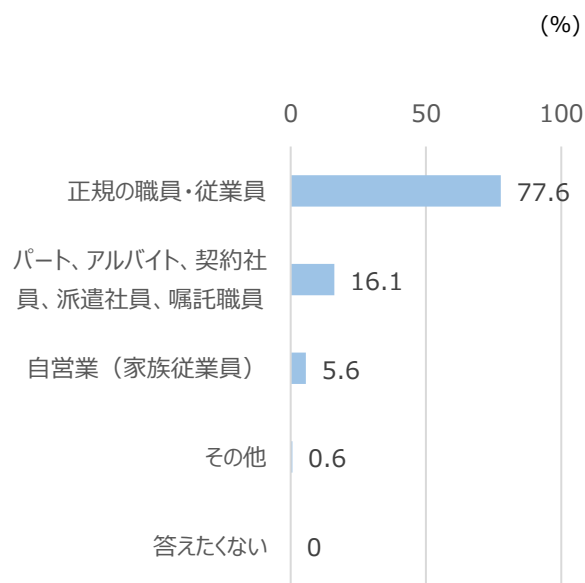
(ウ) 職業

	回答数	%
医療・福祉	38	19.2%
製造業	29	14.6%
サービス業	28	14.1%
公務員・団体職員	26	13.1%
卸売・小売業	16	8.1%
学生	13	6.6%
その他	11	5.6%
建設業	9	4.5%
無職	8	4.0%
農林水産業	7	3.5%
運輸・郵便業	6	3.0%
答えたくない	5	2.5%
情報通信	1	0.5%
金融・保険業	1	0.5%
計	198	100.0%



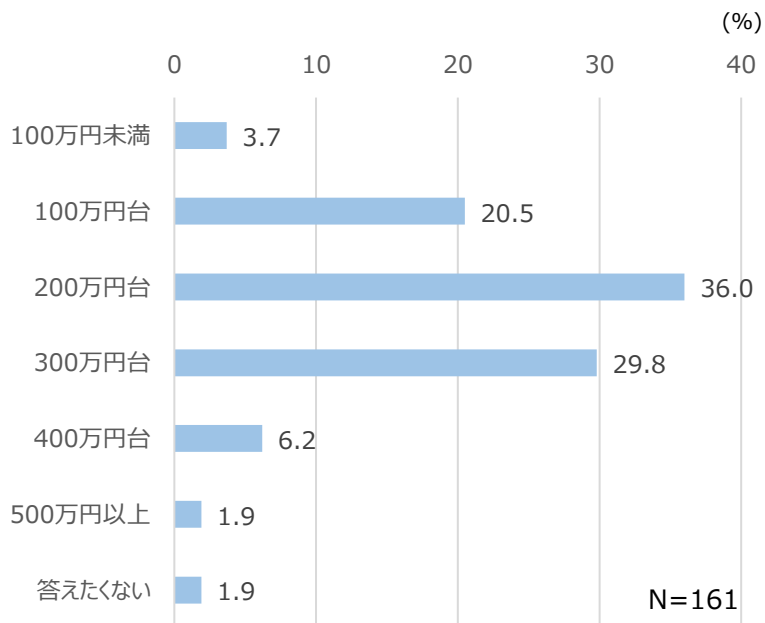
(工) 雇用形態

	回答数	%
正規の職員・従業員	125	77.6%
パート、アルバイト、契約社員、派遣社員、嘱託職員	26	16.1%
自営業（家族従業員）	9	5.6%
その他	1	0.6%
答えたくない	0	0.0%
計	161	100.0%



(オ) 年収

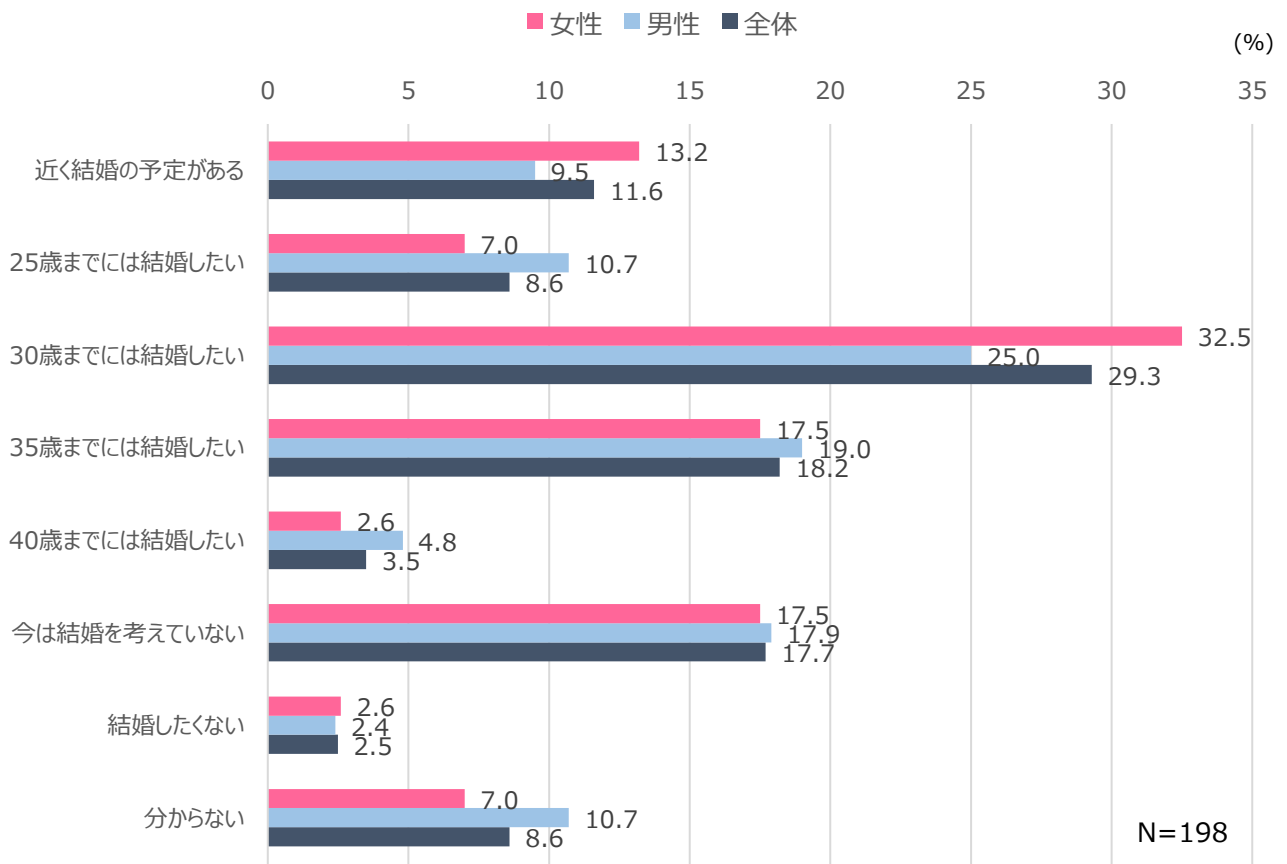
	回答数	%
100万円未満	6	3.7%
100万円台	33	20.5%
200万円台	58	36.0%
300万円台	48	29.8%
400万円台	10	6.2%
500万円以上	3	1.9%
答えたくない	3	1.9%
計	161	100.0%



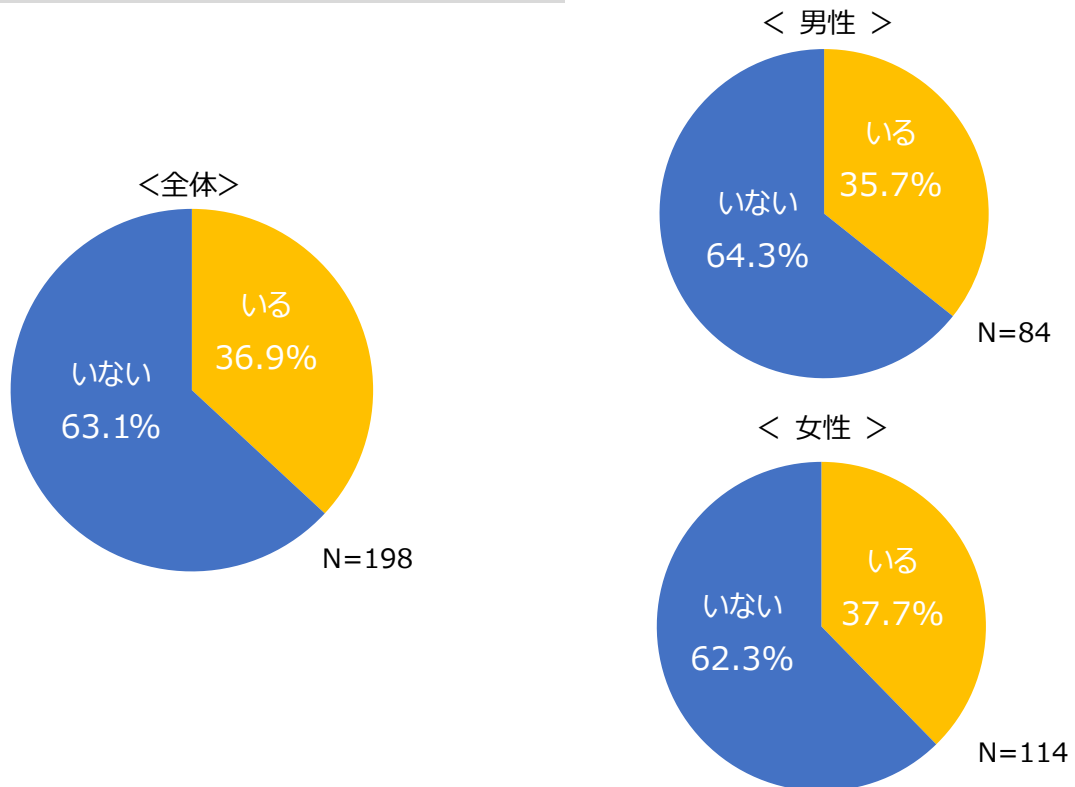
<独身者属性の傾向>

- ・独身者全体の職業をみると、回答者全体と同様に「医療・福祉」が19.2%と最も多く、次いで「製造業」、「サービス業」の割合が高い。
- ・独身者の77.6%は、「正規の職員・従業員」として勤務しており、回答者全体の68.5%と比べて、9.1ポイント高い割合となったが、おおよその年収は「200万円台」が36.0%と最も高い。

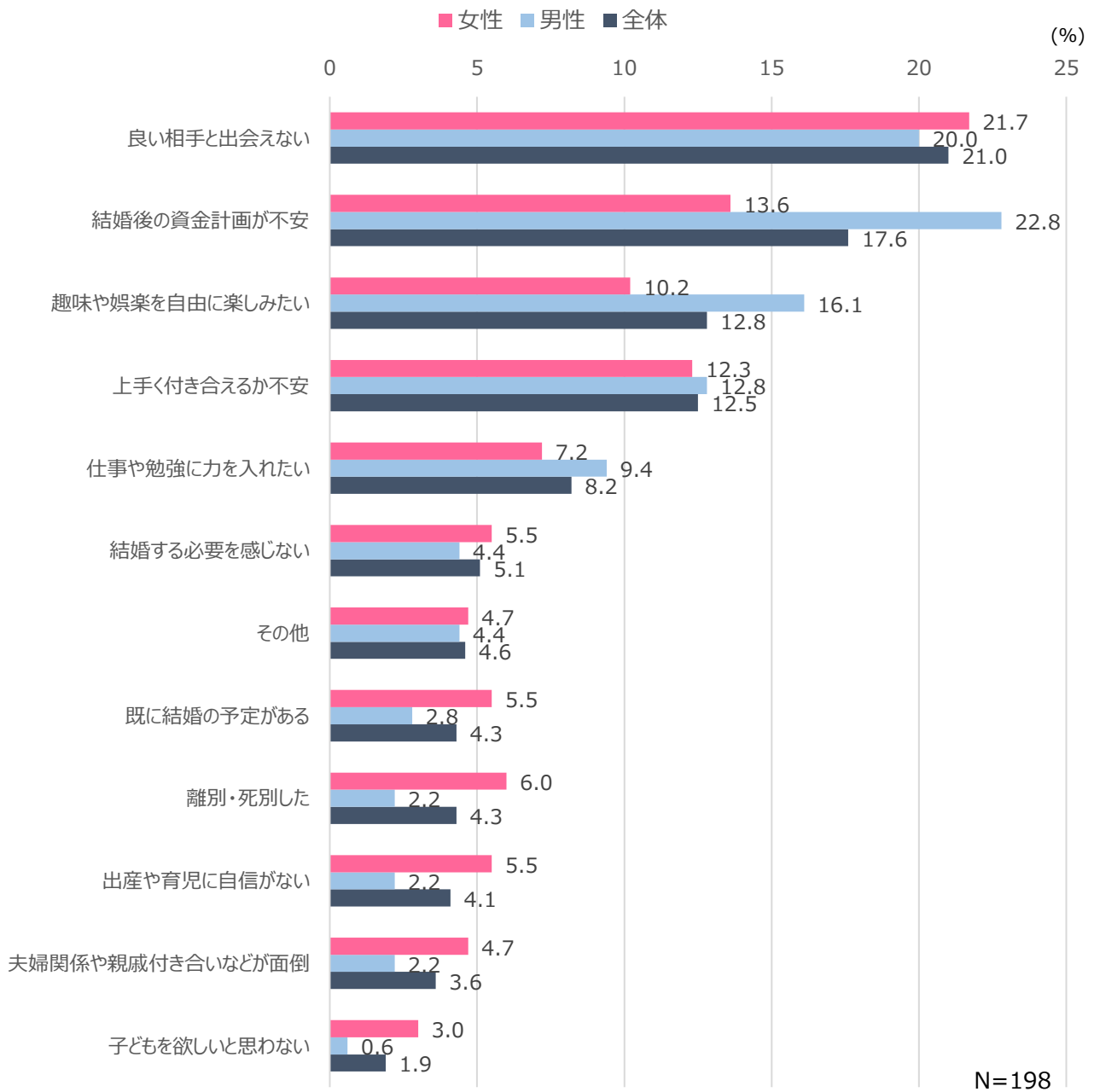
②独身者の結婚意志・・・問6. あなたの結婚の予定、意向について教えてください。



③異性との交際状況・・・問7. 今、交際相手はいますか。



④独身である理由・・・問8. あなたが独身である理由を教えてください。(3つまで選択可)

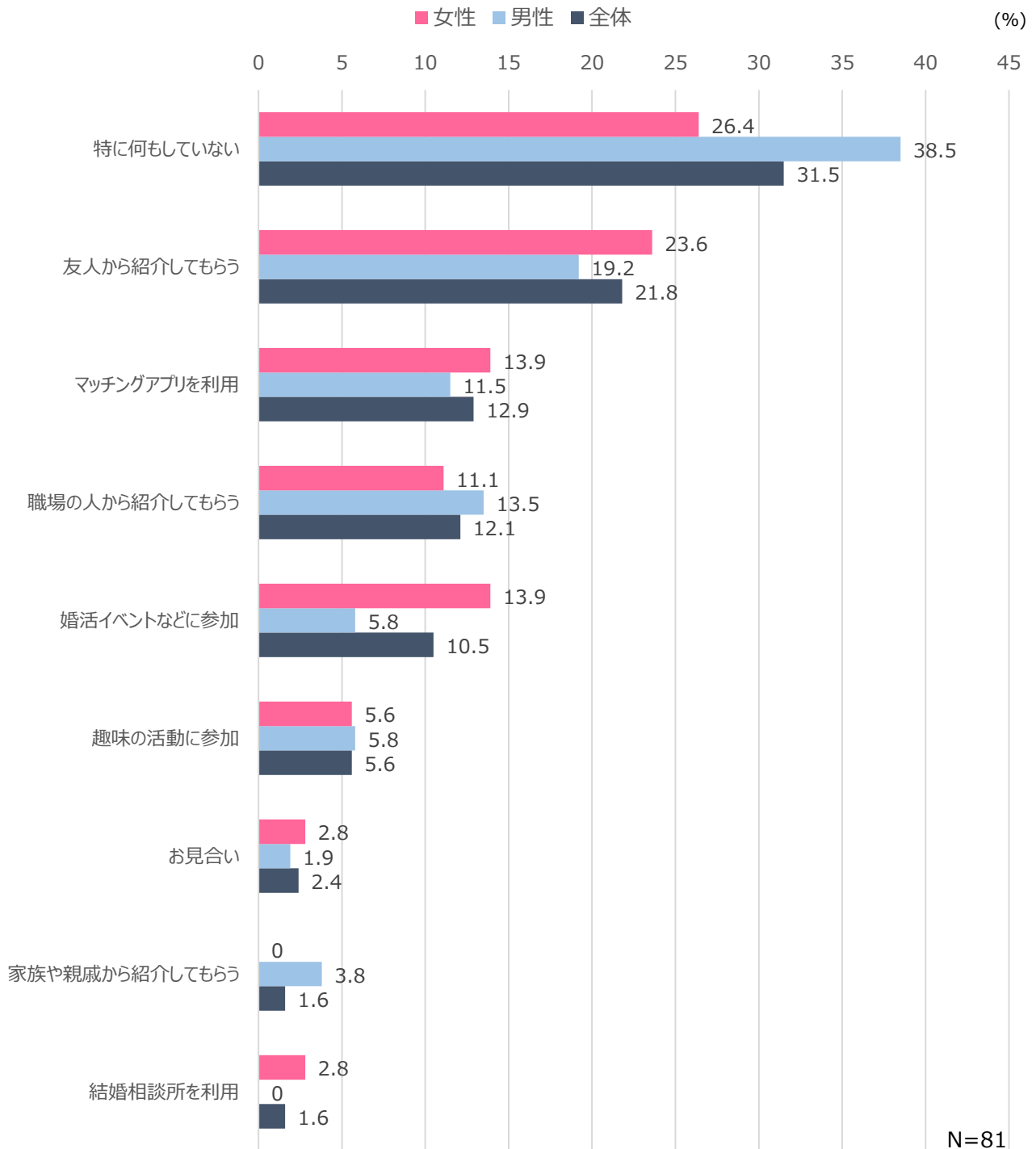


<「独身である理由」男女別の傾向>

- ・男性は「結婚後の資金計画が不安」が 22.8%と最も高く、次いで「良い相手と出会えない」、「趣味や娯楽を自由に楽しみたい」の割合が高い。
- ・女性は「良い相手と出会えない」が 21.7%と最も高く、次いで「結婚後の資金計画が不安」、「上手く付き合えるか不安」の割合が高い。
- ・「結婚後の資金計画が不安」、「趣味や娯楽を自由に楽しみたい」と感じている男性の割合が、同じ項目における女性の割合を大きく上回っている。

⑤婚活の状況…問9. 良い相手に出会うために心掛けていることはありますか。(複数選択可)

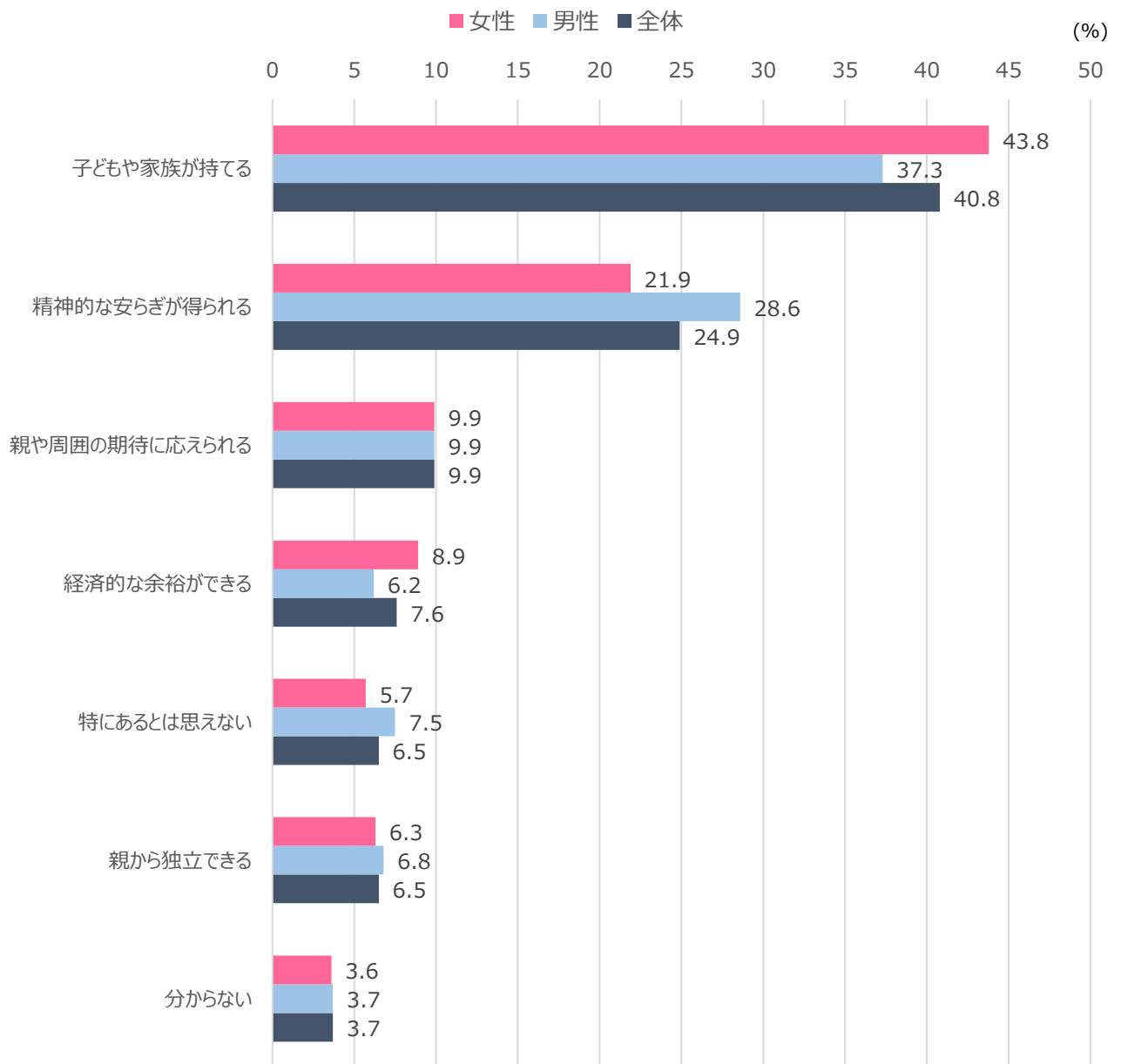
※問7で『実際相手はいない』、問8で『良い相手と出会えない』を選択した方のみ。



<「良い相手に出会うために心掛けていること」男女別の傾向>

・「良い相手と出会えない」ことを独身である理由としていながらも、男女ともに「特に何もしていない」の割合が最も高い。

⑥結婚に対するイメージ…問10. 結婚することは、何か利点があると思いますか。(複数選択可)



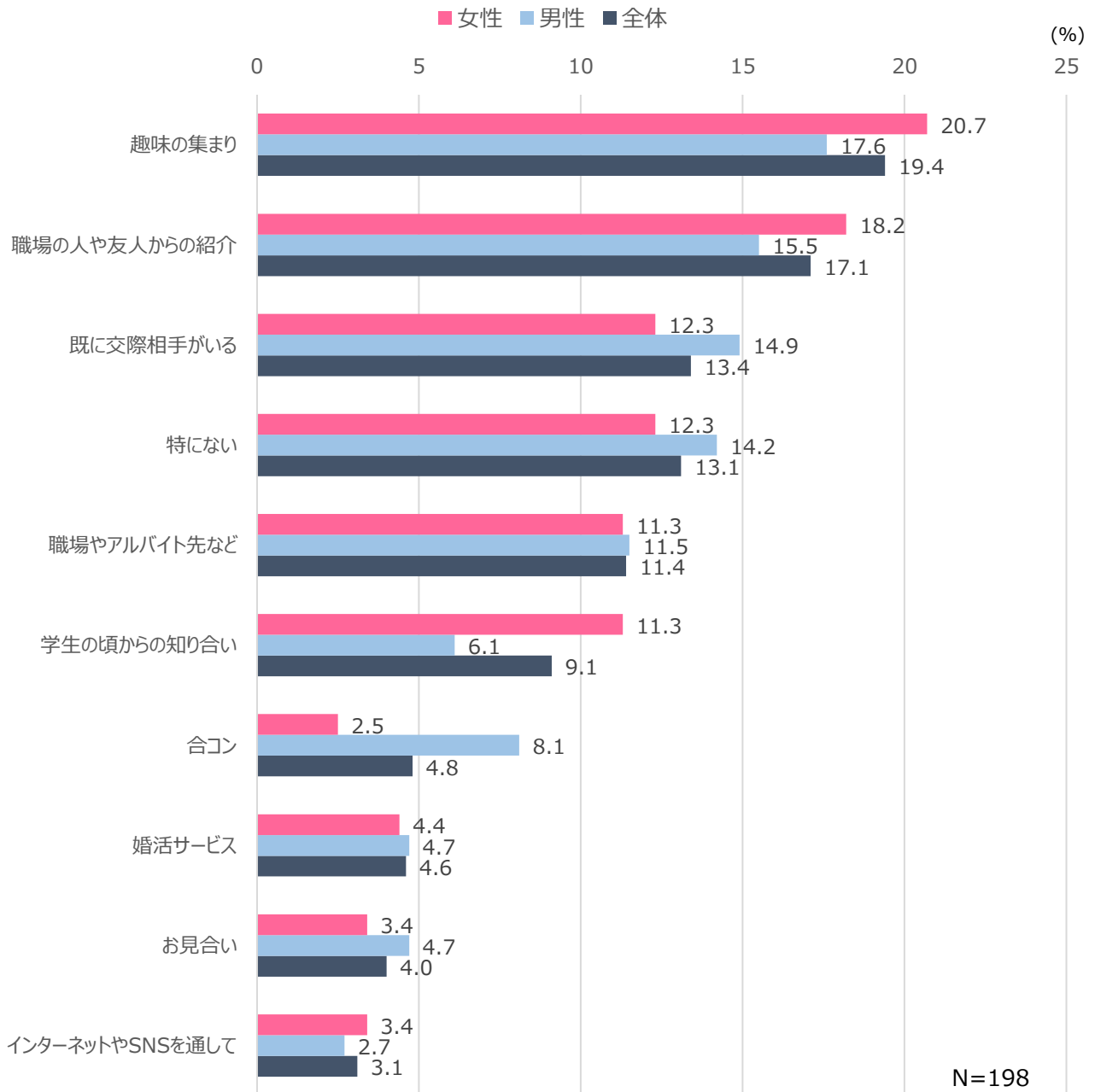
N=198

<「結婚に対するイメージ」に対する傾向>

・男女とも、「子どもや家庭が持てる」がもっとも多く、次いで「精神的な安らぎが得られる」となっている。

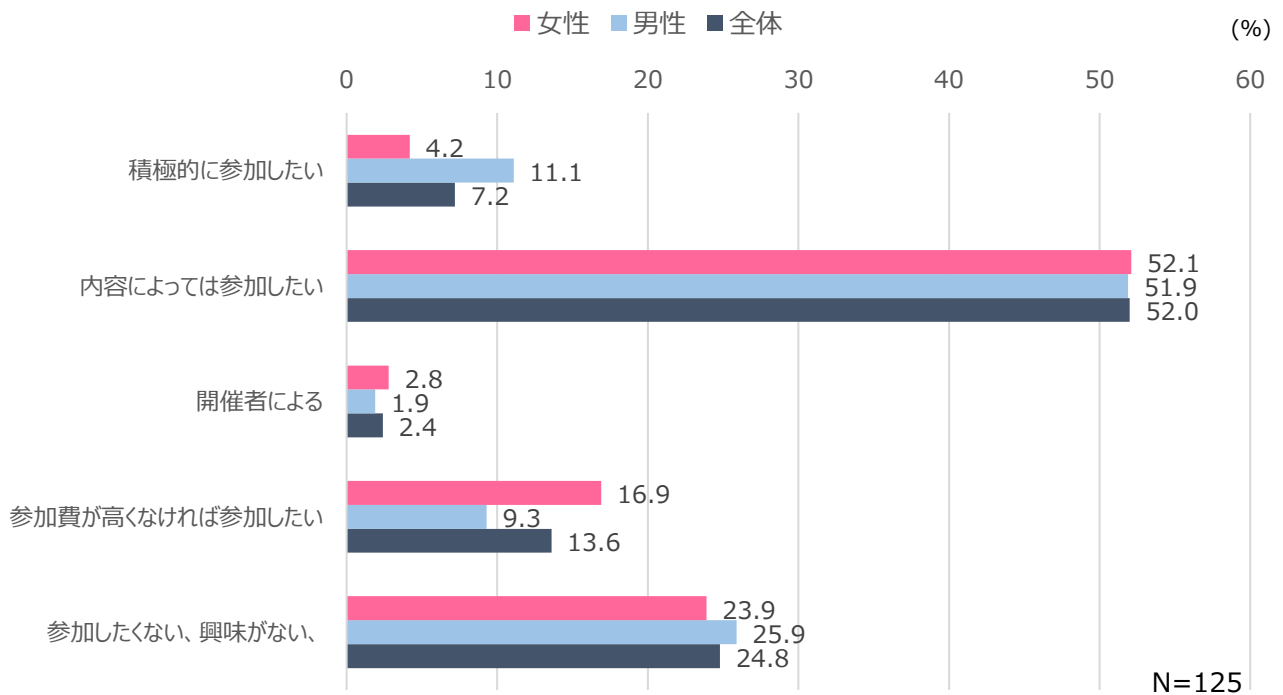
⑦理想の出会い方…問1 1. 結婚する相手とは、どのような機会、場所で出会いたいですか。

(3つまで選択可)



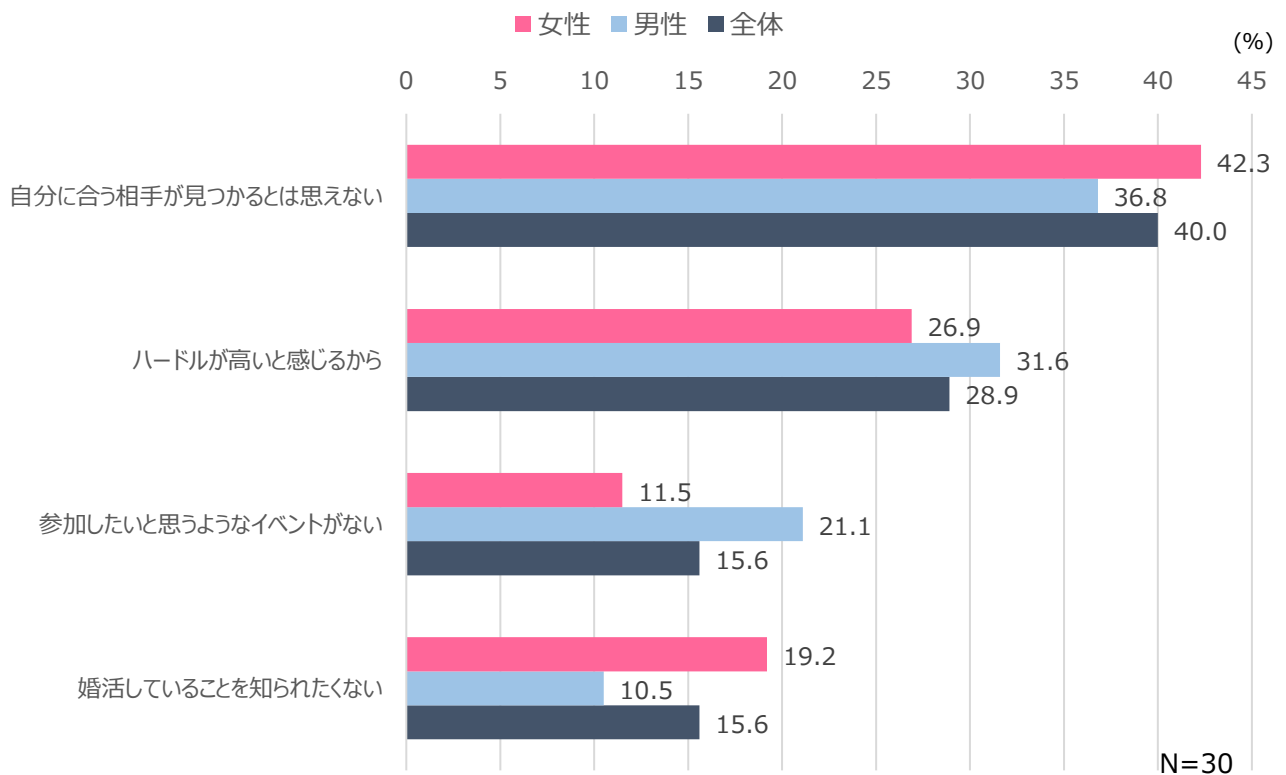
⑧- (ア) 婚活イベントについて…問 1 2. 婚活イベントに参加したいですか。

※問 7 で『交際相手はいない』を選択した人のみ。

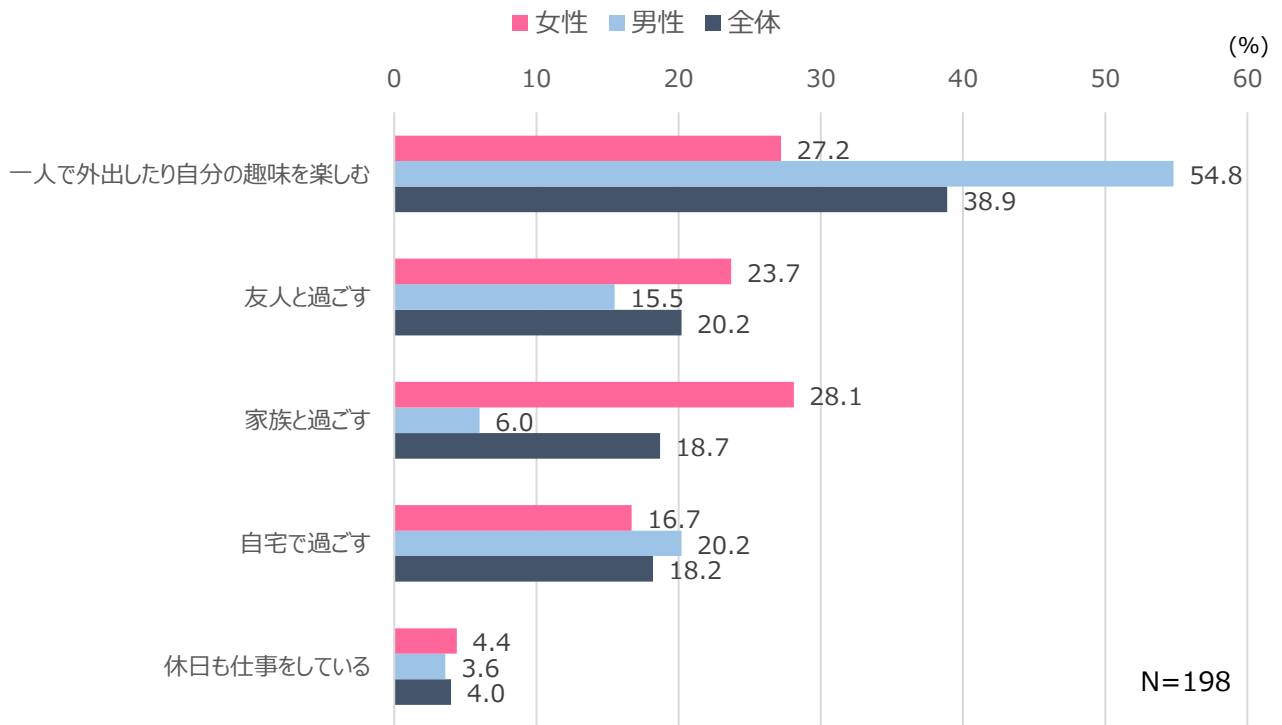


⑧- (イ) 婚活イベントについて…問 1 3. 婚活イベントに参加したくない、興味がない理由を教えてください。

(複数選択可) ※問 7 で『交際相手はいない』、問 1 2 で『参加したくない、興味がない』を選択した人のみ。



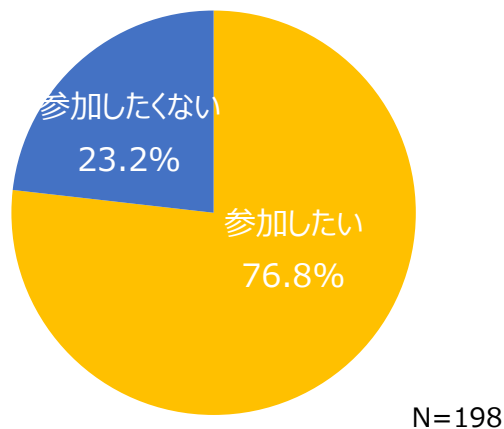
⑨独身者のライフスタイル・・・問 1 4. 主な休日の過ごし方を教えてください。



<「主な休日の過ごし方」男女別の傾向>

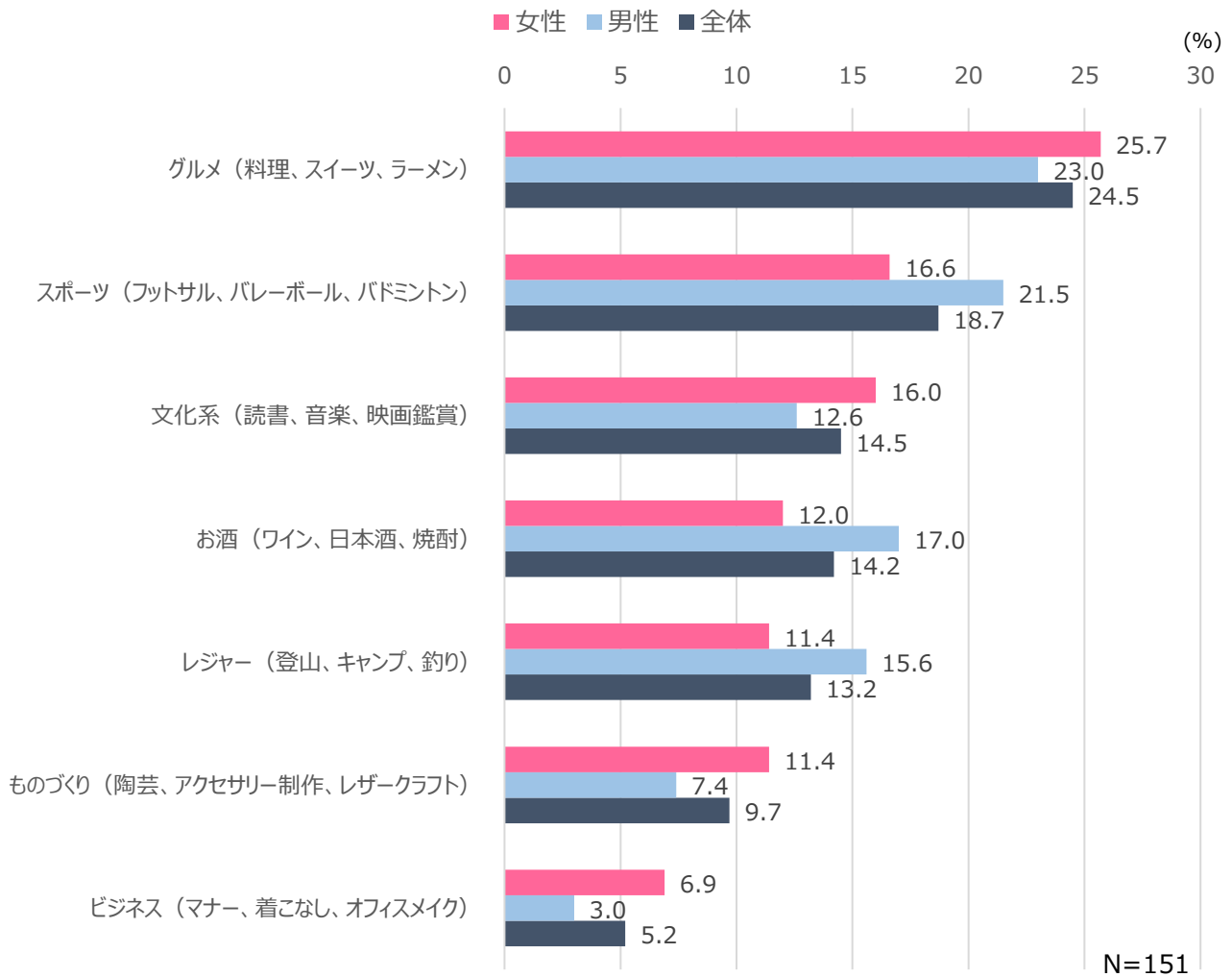
・休日は「一人で外出したり自分の趣味を楽しむ」男性（54.8%）は女性（27.2%）の約 2 倍、「家族と過ごす」女性（28.1%）は男性（6.0%）の約 5 倍と高い割合となった。

⑩ - (ア) 趣味型交流について・・・問 1 5. 同年代の人と趣味などを通じて、交流できる場があれば参加したいですか。

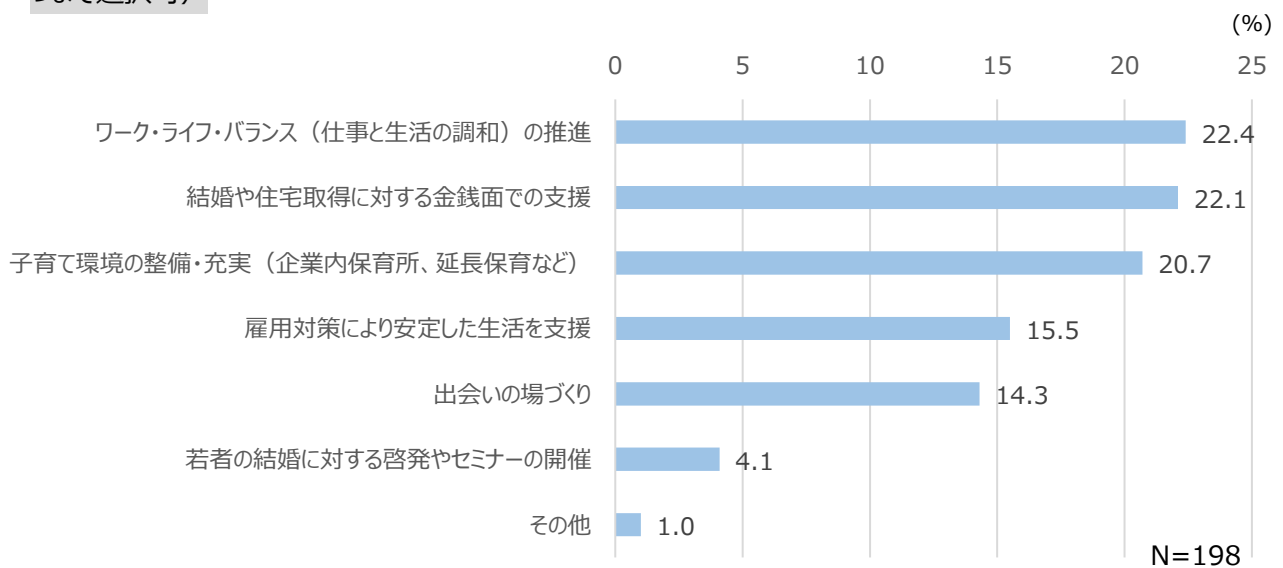


⑩ - (イ) 趣味型交流について・・・問 16. どのようなジャンルの活動に参加したいですか。(2つまで選択可)

※問 15 で『参加したい』を選択した人のみ。



⑪ 結婚支援に有効な施策・・・問 17. 結婚を希望する人に対して、どのような取り組みが有効だと思いますか。(3つまで選択可)

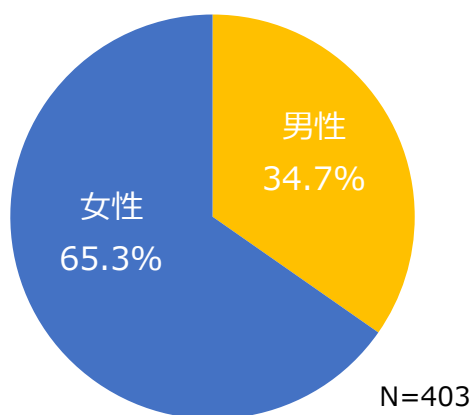


(4) 既婚者の意識

①既婚者の属性

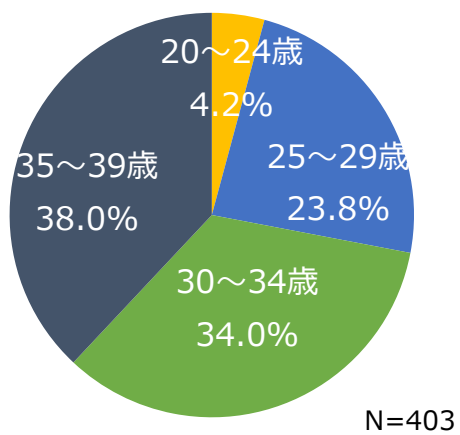
(ア) 性別

	回答数	%
男性	140	34.7%
女性	263	65.3%
計	403	100.0%



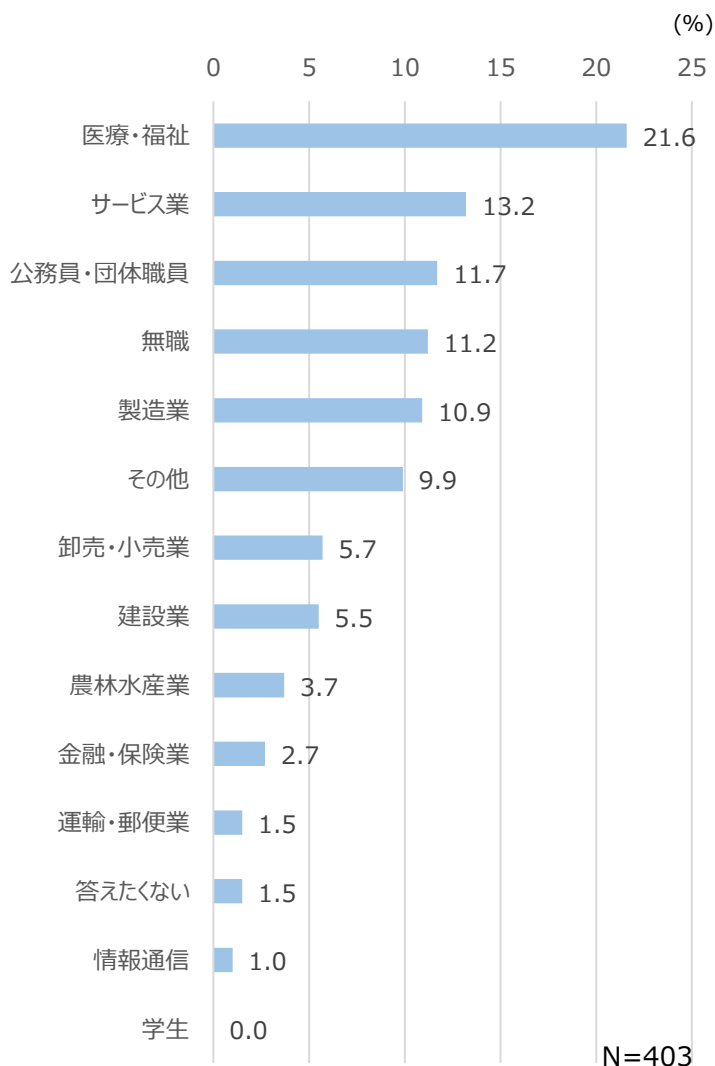
(イ) 年齢

	回答数	%
20～24歳	17	4.2%
25～29歳	96	23.8%
30～34歳	137	34.0%
35～39歳	153	38.0%
計	403	100.0%



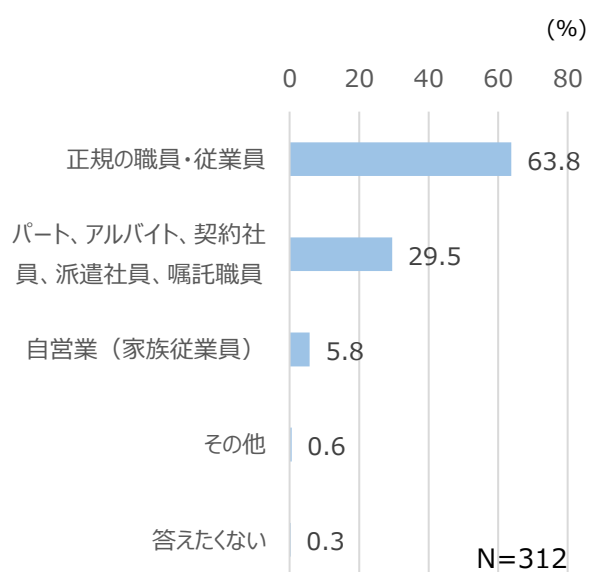
(ウ) 職業

	回答数	%
医療・福祉	87	21.6%
サービス業	53	13.2%
公務員・団体職員	47	11.7%
無職	45	11.2%
製造業	44	10.9%
その他	40	9.9%
卸売・小売業	23	5.7%
建設業	22	5.5%
農林水産業	15	3.7%
金融・保険業	11	2.7%
運輸・郵便業	6	1.5%
答えたくない	6	1.5%
情報通信	4	1.0%
学生	0	0.0%
計	403	100.0%



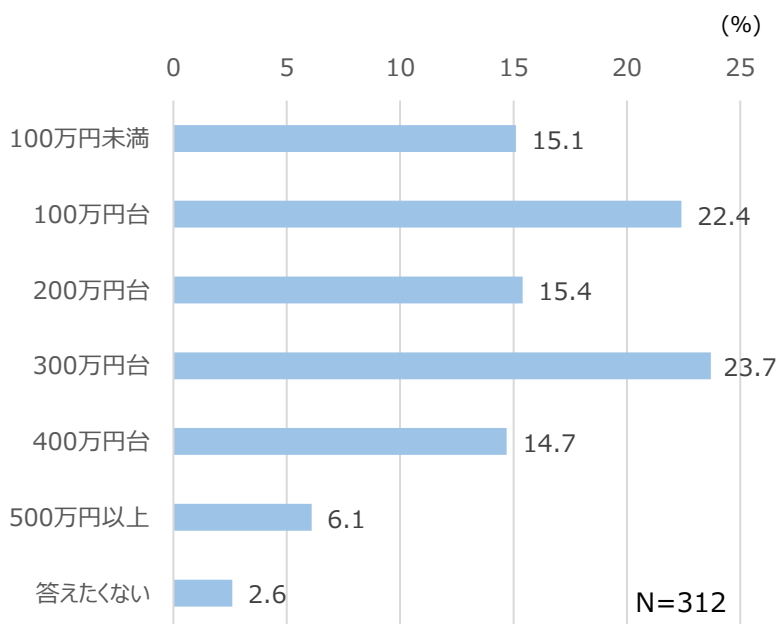
(工) 雇用形態

	回答数	%
正規の職員・従業員	199	63.8%
パート、アルバイト、契約社員、派遣社員、嘱託職員	92	29.5%
自営業（家族従業員）	18	5.8%
その他	2	0.6%
答えたくない	1	0.3%
計	312	100.0%



(オ) 年収

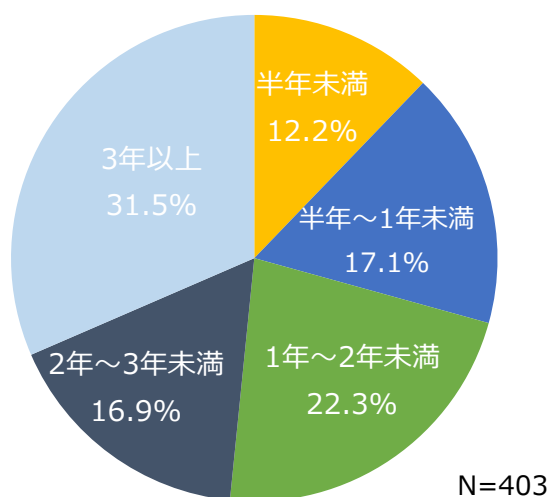
	回答数	%
100万円未満	47	15.1%
100万円台	70	22.4%
200万円台	48	15.4%
300万円台	74	23.7%
400万円台	46	14.7%
500万円以上	19	6.1%
答えたくない	8	2.6%
計	312	100.0%



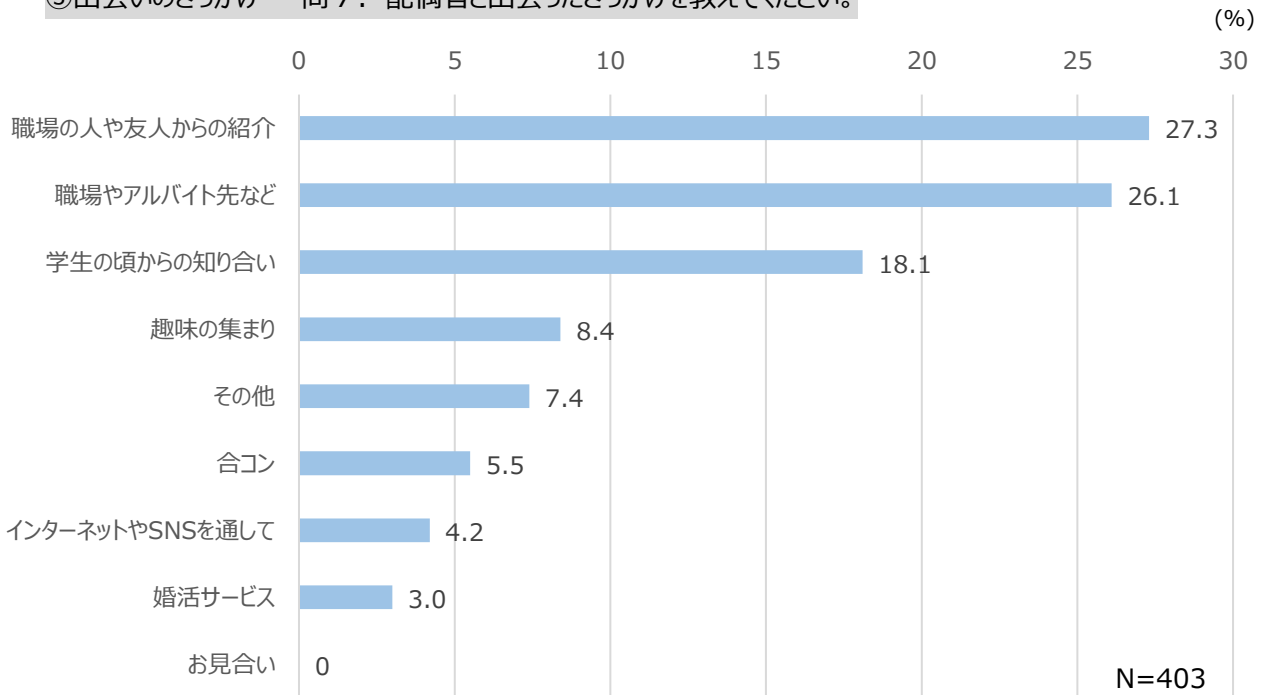
<既婚者属性の傾向>

- ・既婚者全体の職業をみると、回答者全体、未婚者と同様に「医療・福祉」が21.6%と最も多く、次いで「サービス業」、「公務員・団体職員」の割合が高い。
- ・既婚者の63.8%は「正規の職員・従業員」として勤務しており、未婚者の「正規の職員・従業員」の割合77.6%より低い結果となったが、おおよその年収は「300万円台」が23.7%と最も高い。

②結婚年数・・・問6. 現在、結婚何年目ですか。



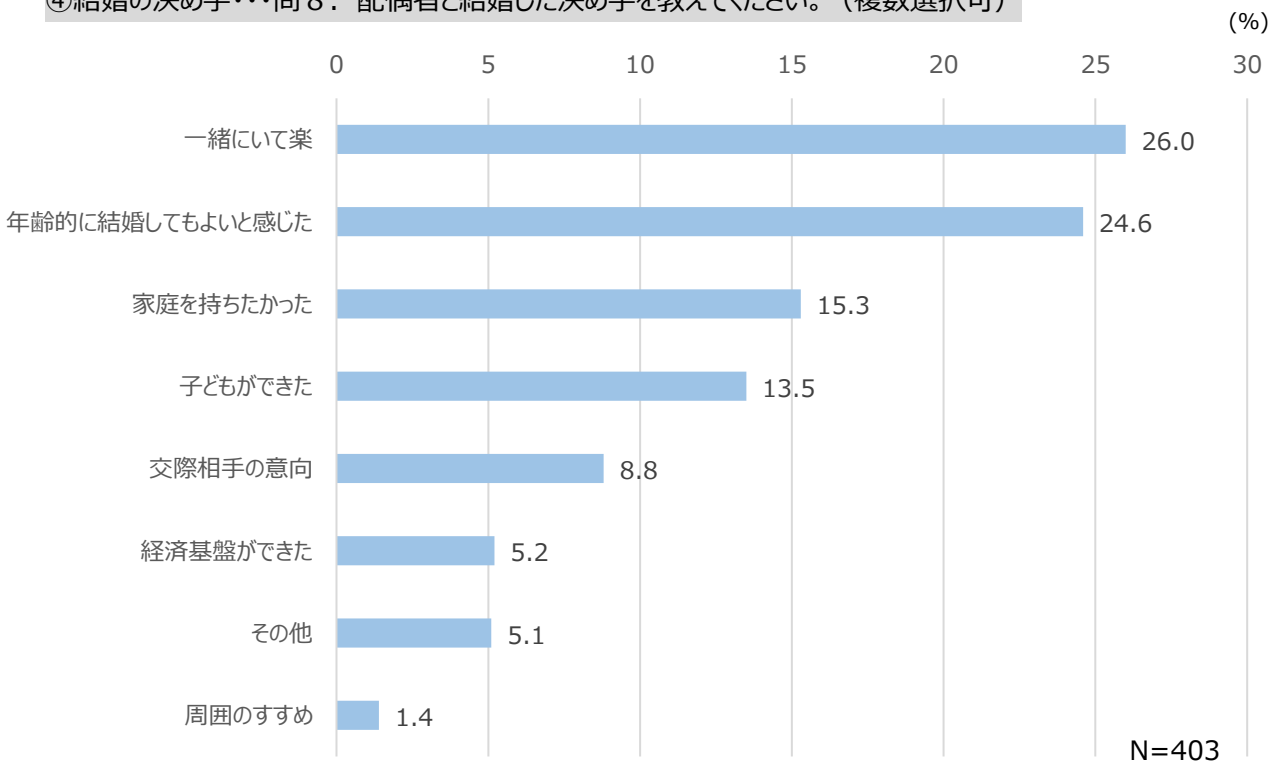
③ 出会いのきっかけ・・・問 7. 配偶者と出会ったきっかけを教えてください。



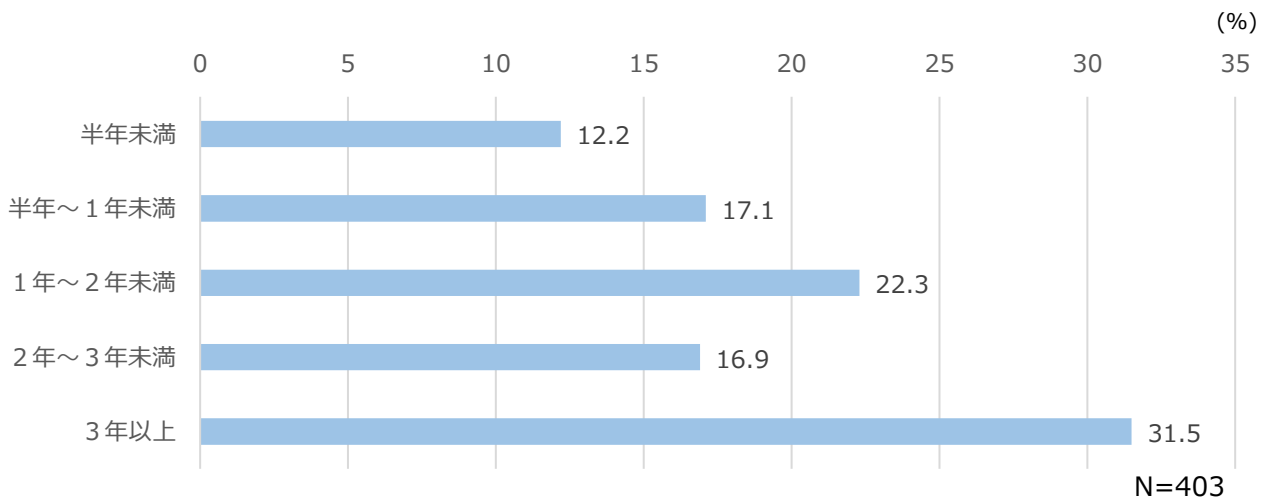
< 「配偶者と出会ったきっかけ」の傾向 >

・「職場の人や友人からの紹介」「職場やアルバイト先など」で配偶者と出会った割合が高く、「婚活サービス」を利用して出会った割合は全体の 3.0%となった。

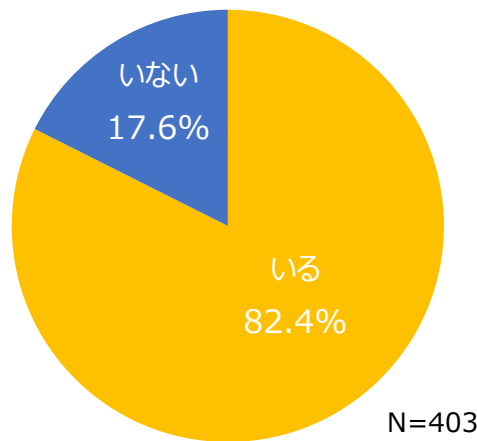
④ 結婚の決め手・・・問 8. 配偶者と結婚した決め手を教えてください。(複数選択可)



⑤交際期間・・・問 9. 結婚（入籍）するまで配偶者と交際した期間を教えてください。

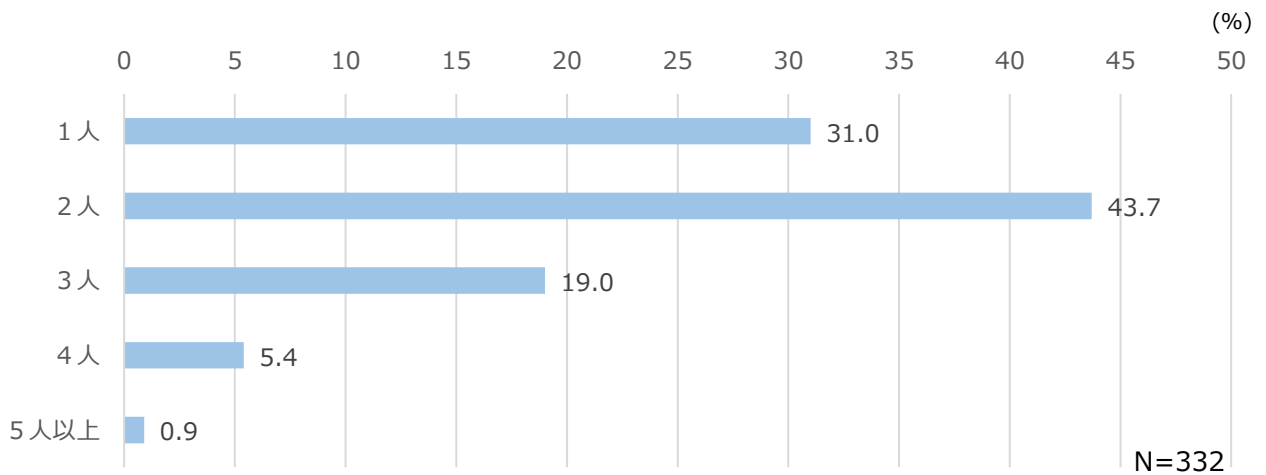


⑥- (ア) 子ども数・出産年齢・・・問 10. あなたはお子さんがいらっしゃいますか。



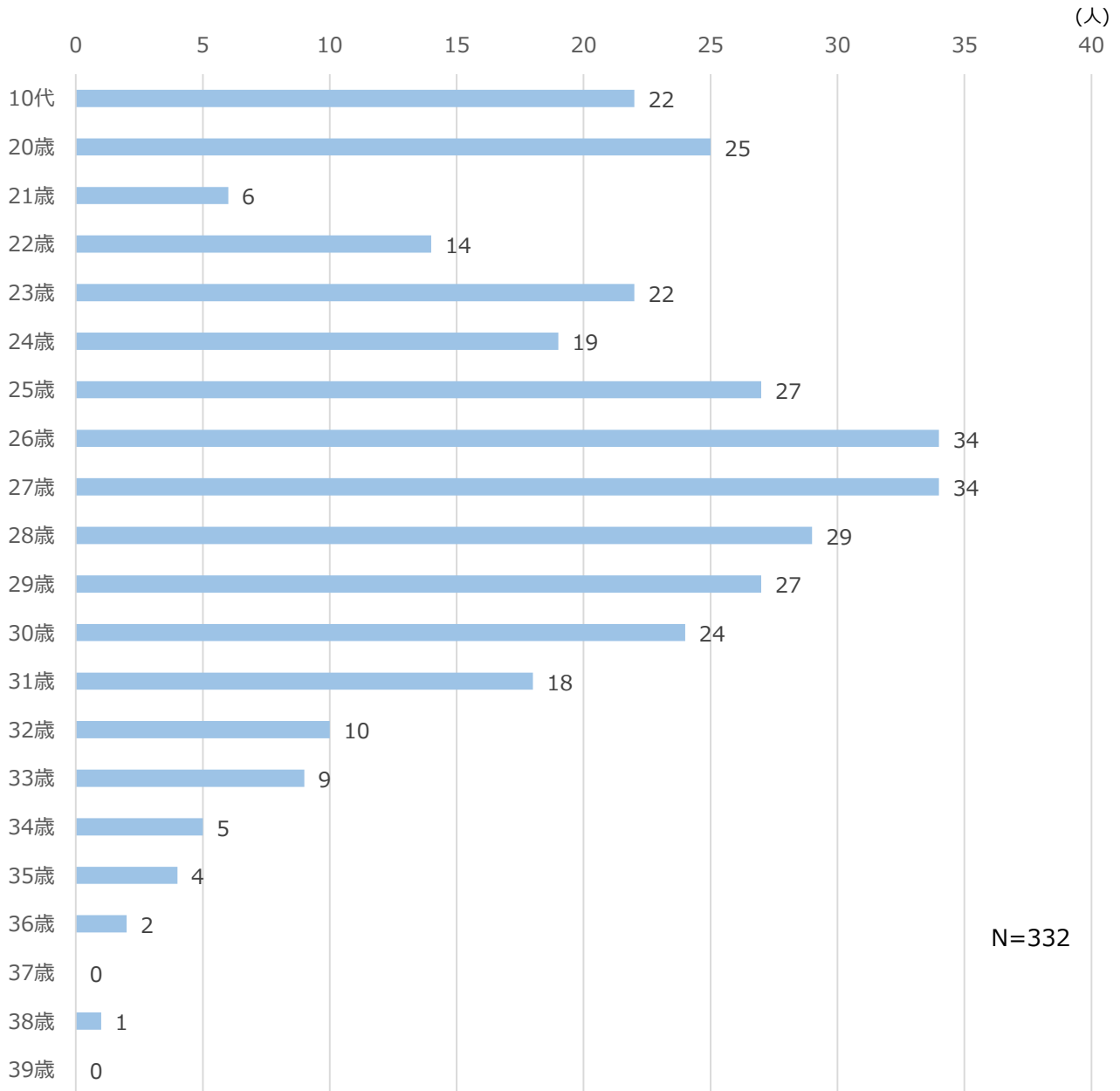
⑥- (イ) 子ども数・出産年齢・・・問 11. 現在、何人お子さんがいらっしゃいますか。

※問 10 で『いる』を選択した人のみ。



⑥- (ウ) 子ども数・出産年齢…問12. 第1子の出産年齢（出産された方の年齢）を選択してください。

※問10で『いる』を選択した人のみ。

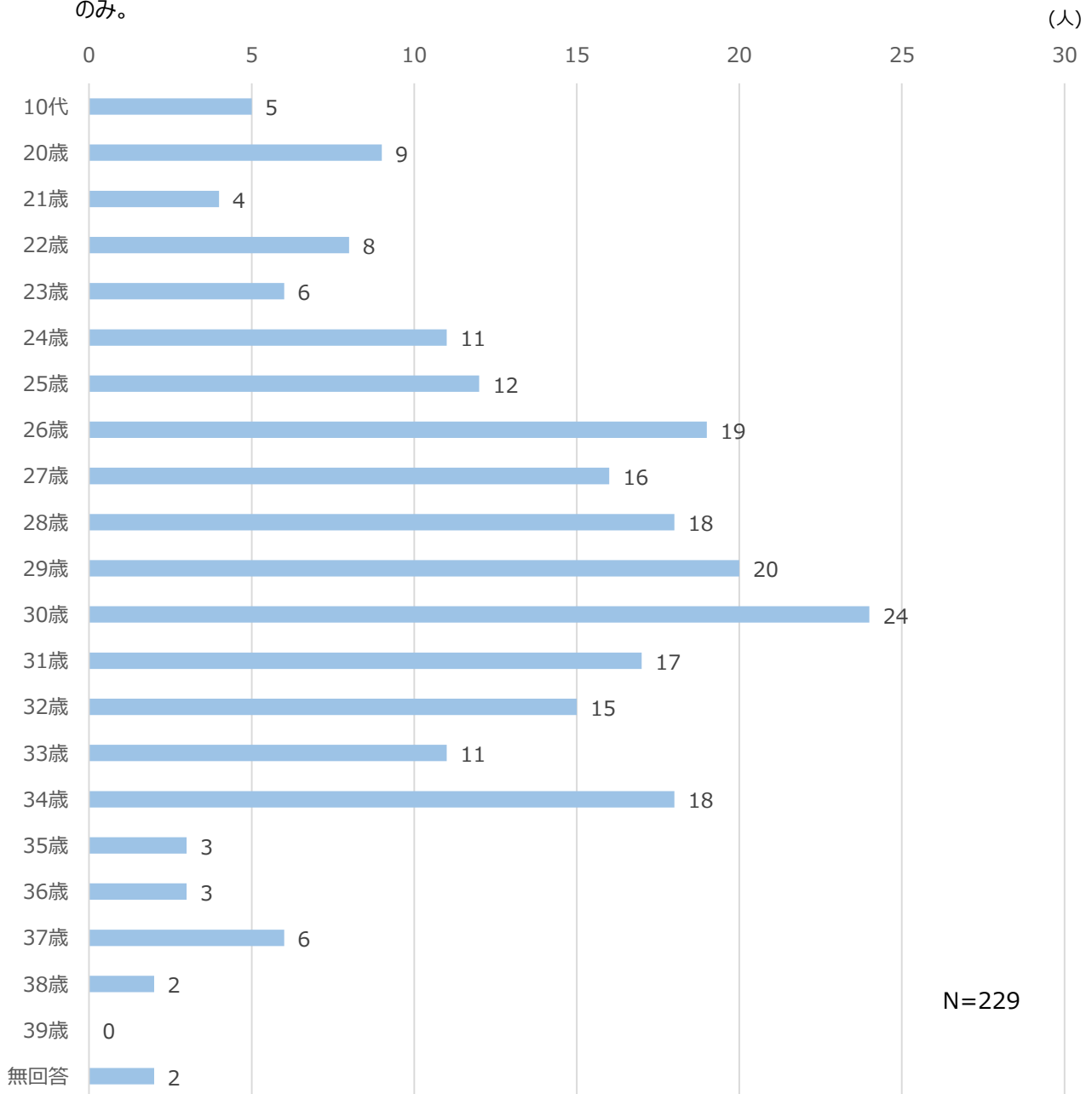


< 第1子の出産時年齢の傾向 >

・10代～20歳にひとつの山があり、それ以降は減少するが、26・27歳を二つ目の山として増加している。

⑥-(工) 子ども数・出産年齢・・・問 1 3. 第 2 子の出産年齢（出産された方の年齢）を選択してください。

※問 1 0 で『いる』を選択した方、問 1 1 で『2 人』『3 人』『4 人』『5 人以上』お子さんがいると回答した方のみ。

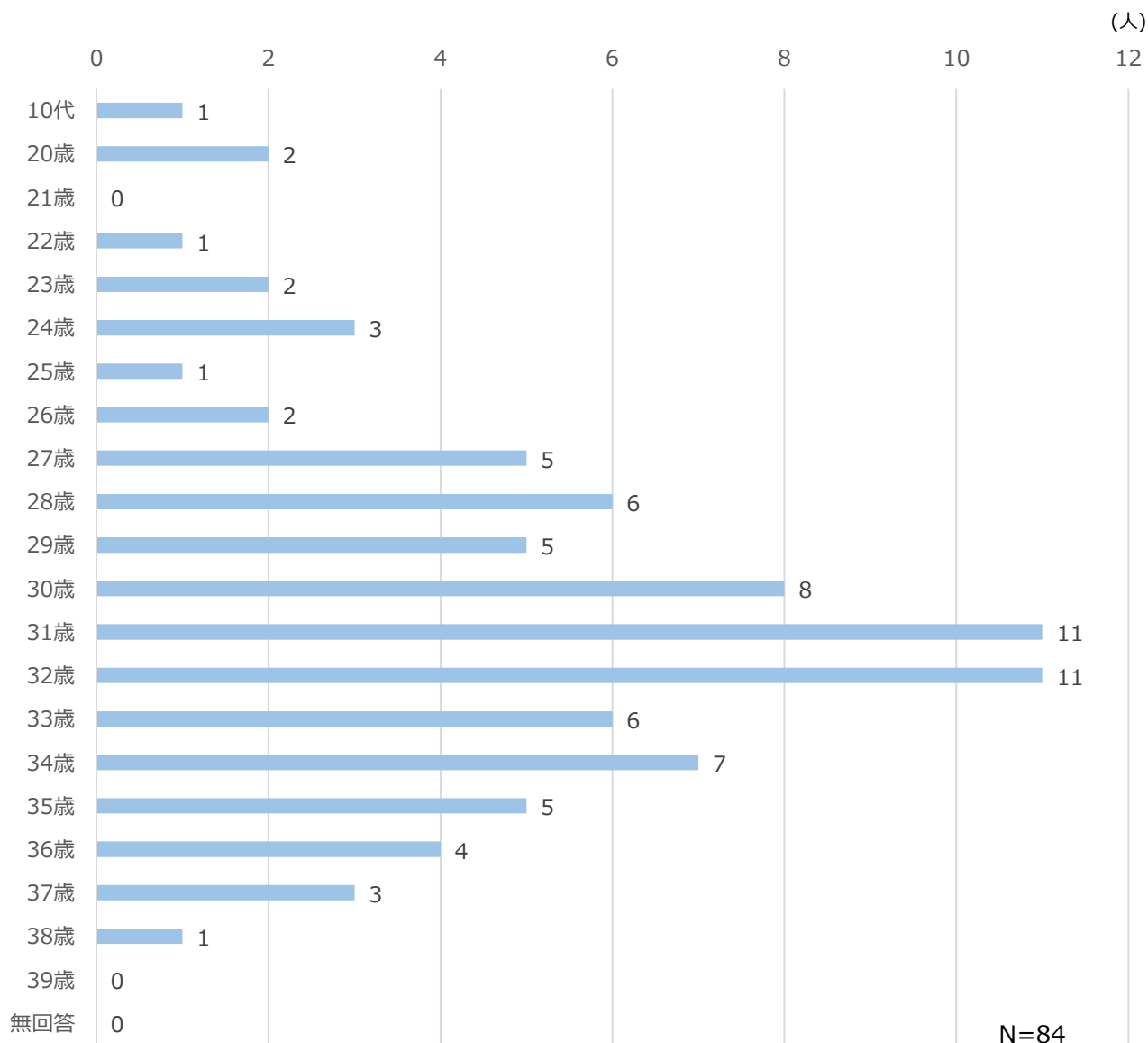


< 第 2 子の出産時年齢の傾向 >

・20 代後半から 30 代前半にかけて増加傾向にあり、30 代後半には減少する。

⑥- (オ) 子ども数・出産年齢・・・問14. 第3子の出産年齢（出産された方の年齢）を選択してください。

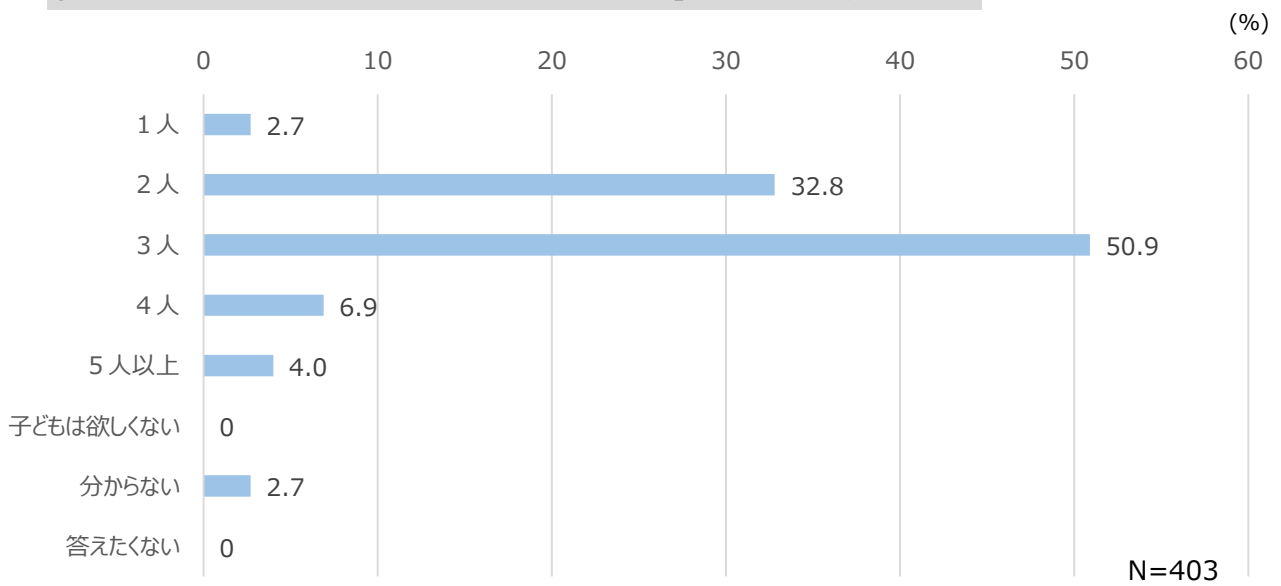
※問10で『いる』を選択した人、問11で『3人』『4人』『5人以上』お子さんがいると回答した方のみ。



<第3子出産時年齢の傾向>

・20代後半から増加し、31・32歳をピークに増加し、その後ゆるやかに減少する。

⑦理想の子ども数・・・問 1 5. あなたは、子どもを「理想」で何人くらい欲しいですか。

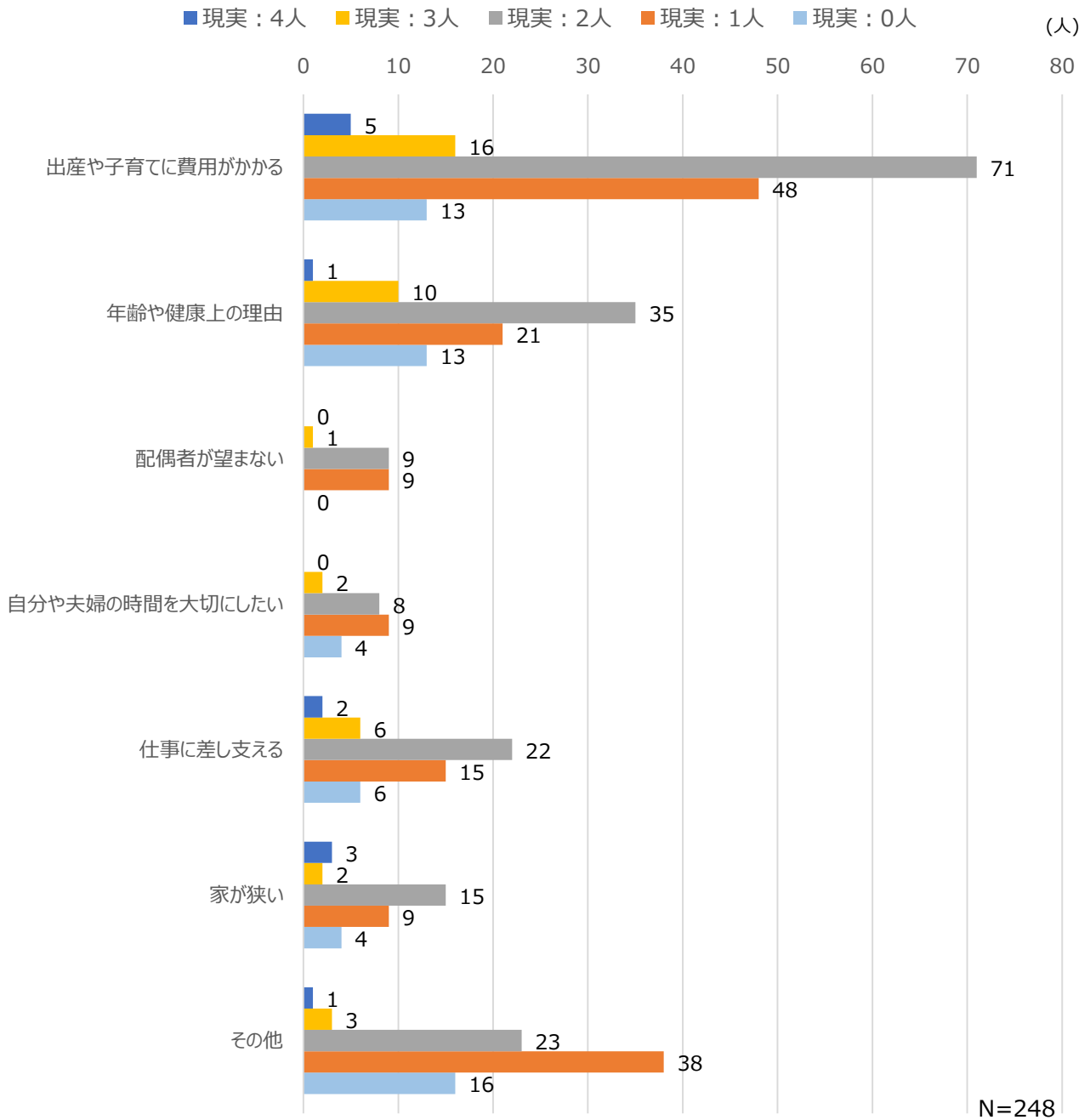


<「理想の子ども数」の傾向>

- ・理想の子ども数としては3人（50.9%）を希望する割合が最も高く、次いで2人（32.8%）となっている。
- ・現在の子ども数は2人が最も多く（43.7%）、次いで1人（31.0%）が多い結果となったのと比較して、理想の子ども数としては現在と+1人程度の開きがある。

⑧理想の子ども数に対して実際の子ども数が少ない理由…問 1 6 . 現実にいらっしゃる子どもの数が、理想とする子どもの数より少ない理由を教えてください。(複数選択可)

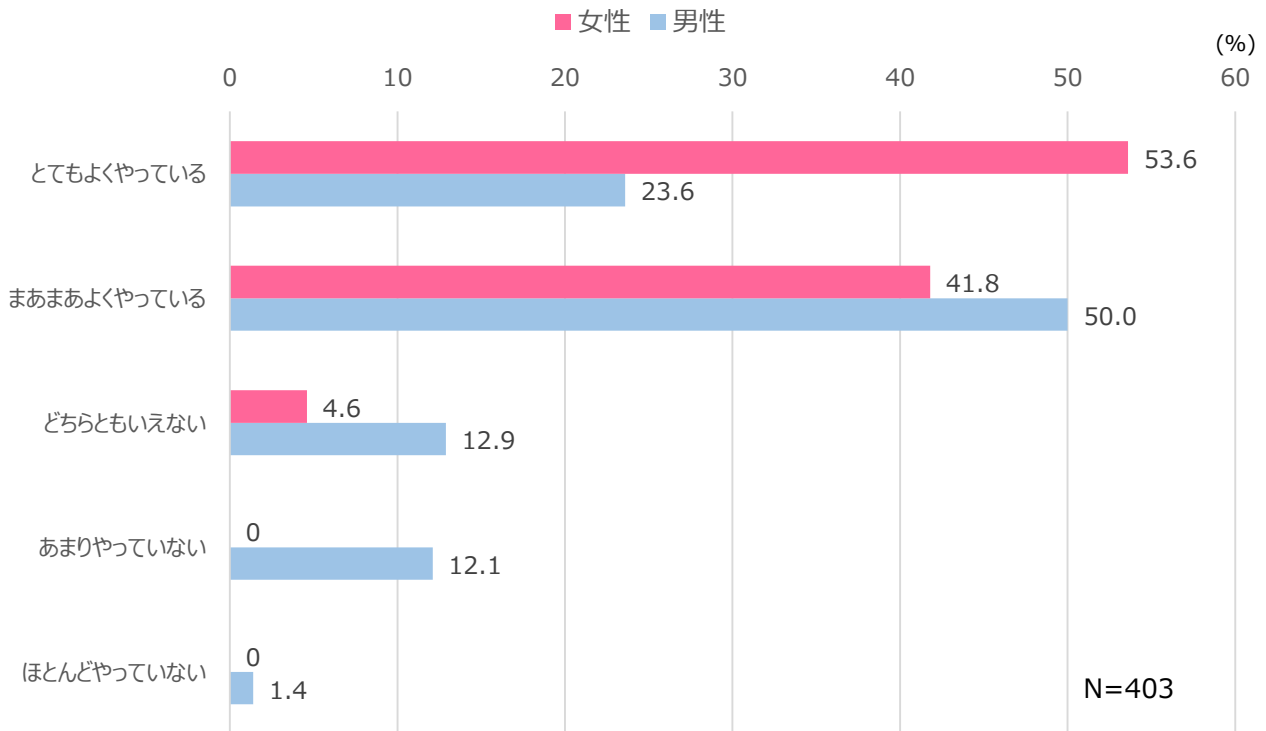
※現実にいらっしゃる子どもの数が、理想とする子どもの数より少ない方のみ。



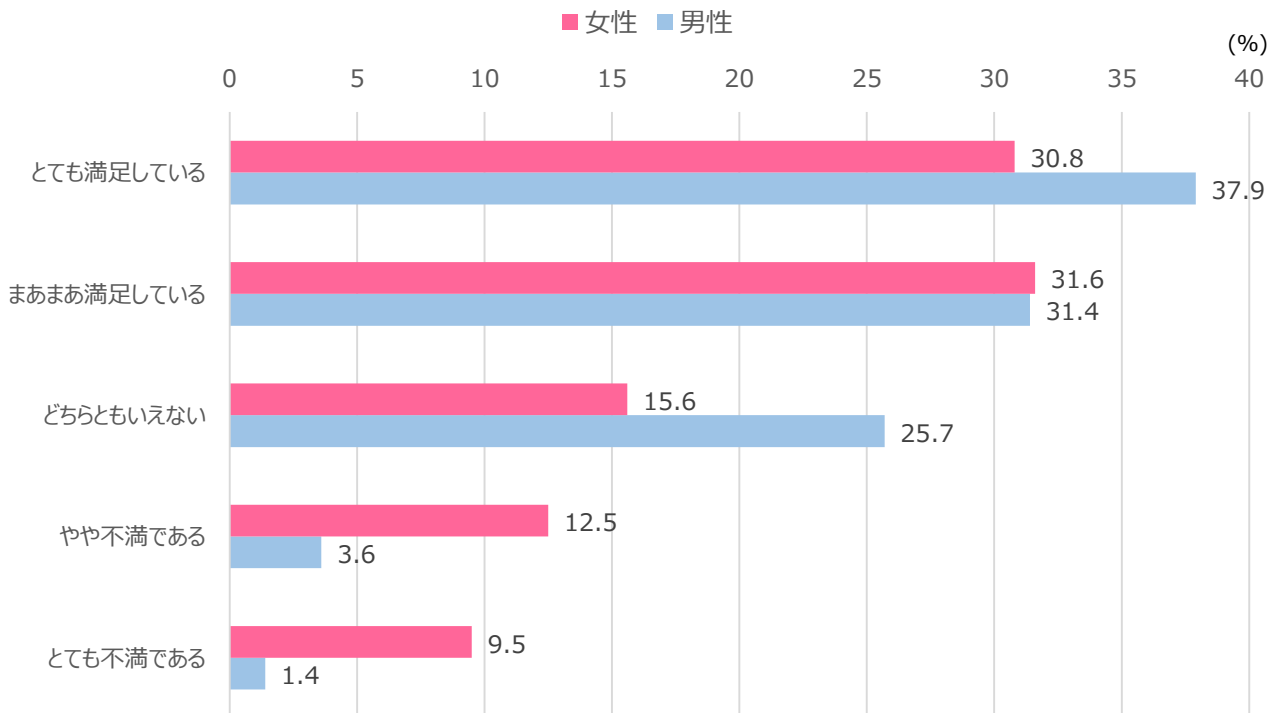
<「理想の子ども数」が現在の子ども数より少ない理由>

- ・「現実の子どもが 1 人」という人たちの中で最も多かったのは、「出産や子育てに費用がかかる」からで、48 人であり、次いで多かったのは「その他」であった。
- ・「現実の子どもが 2 人」という人たちの中で最も多かったのは、同じく「出産や子育てに費用がかかる」からで 71 人であり、次いで「年齢や健康上の理由」で 35 人、「仕事に差し支える」が 22 人であった。

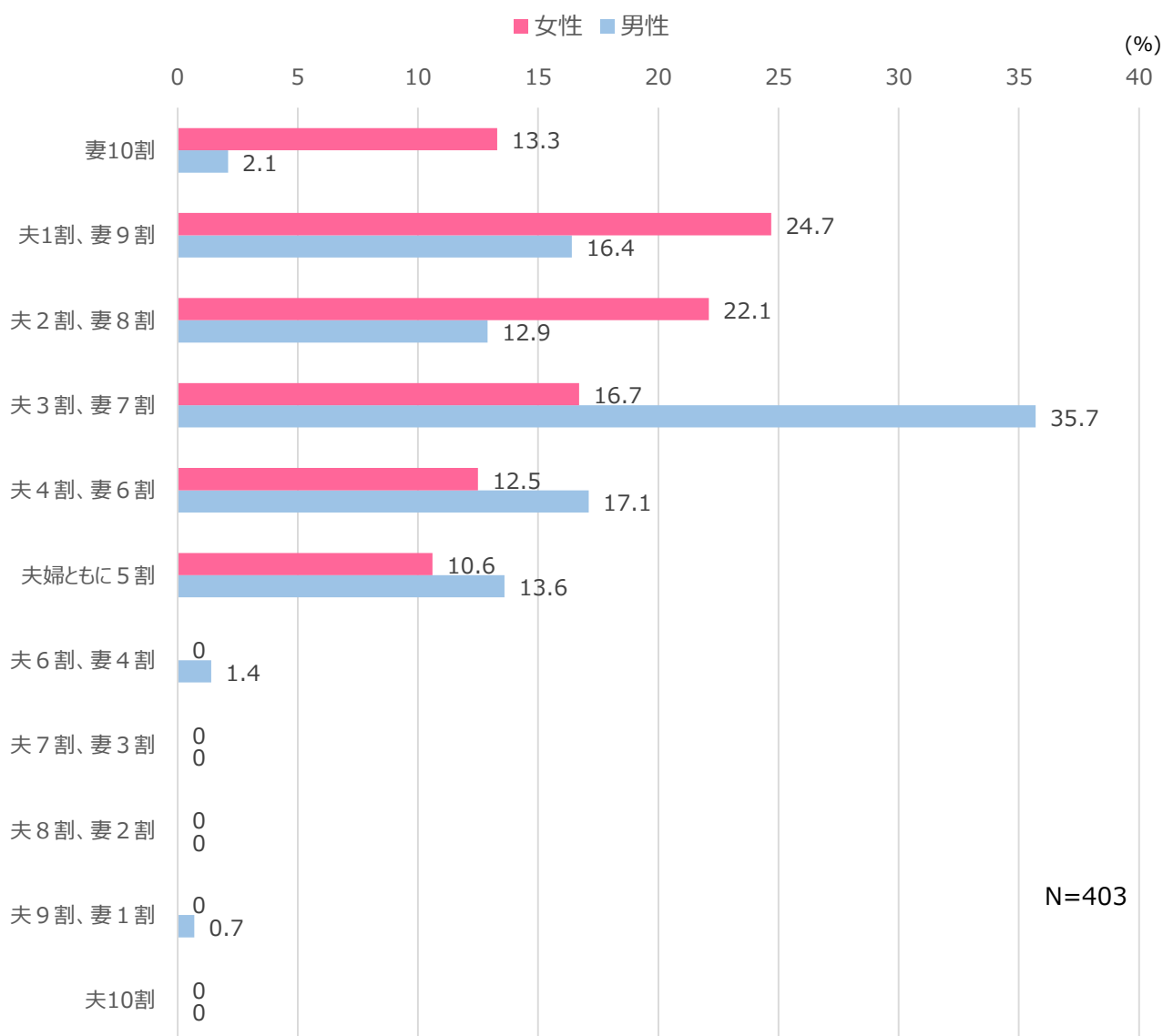
⑨- (ア) 家事・育児の分担・・・問 17. あなたはどの程度、家事・育児を行っていますか。



⑨- (イ) 家事・育児の分担・・・問 18. 家事・育児の分担に満足していますか。



⑨－（オ）家事・育児の分担・・・問19. 夫・妻でどの程度家事・育児を分担していますか。



<「家事・育児の分担」の傾向>

・女性全体の22.0%は、家事・育児分担の割合に対して「やや不満である」「とても不満である」と感じている。

3. まとめ

(1) 結婚・出産について

既婚者にたずねた「理想」とする子どもの数の平均値（2.8人）は、全国調査^{※1}（2.3人）を上回っており、本市の若年層は、より多くの子どもの希望する傾向にあると言えます。

しかしながら、理想とする子ども数に対し、現実には少ない理由として、今の子ども数「0人」「1人」「2人」「3人」「4人」全てにおいて「出産や子育てに費用がかかるから」という回答が多くを占めており、経済的な問題が最も大きくなっています。

(2) 結婚支援について

①独身者について

独身者については、女性の32.5%、男性の35.0%が「30歳までには結婚したい」と答えています。一方で、「35歳までには結婚したい」と同じ程度「今は結婚を考えていない」という回答となっています。

結婚に対する意志については、「いずれ結婚するつもり」と答えた人が県の調査^{※2}では87.9%、全国調査では87.5%とそれぞれ9割近くを占めており、“独身者の9割は結婚の意志がある”ということがうかがえますが、国・県の調査では「いずれ結婚するつもり」と「一生結婚するつもりはない」のいずれかを選択する2択での質問であったため、本調査ではより細かく結婚に対する意志をたずねた結果、「今は考えていない」「結婚したくない」「分からない」という回答が28.8%と3割近くは具体的に結婚の意志を持っていないことがうかがえます。

独身者の「独身でいる理由」をみると、県の調査と同様に「良い相手と出会えない」と答えた人が21.0%と最も多く、次いで「結婚後の資金計画が不安」と答えた人が17.6%となっており、出会いの機会と経済的な問題が、結婚の障壁となっていることがうかがえます。

②既婚者について

既婚者については、結婚相手と知り合ったきっかけについて、「職場やアルバイト先など」と「職場の人や友人からの紹介」を合わせると半数を超えており、身近な人間関係を通じて結婚相手と知り合った人が多くなっています。

一方で、「インターネットやSNSを通して」という回答も4.2%あり、インターネットが新しい出会いの場としても機能していることがわかる他、「婚活サービス」を利用して結婚した割合の3.0%を超える結果となっています。

子どもの数については、「2人」が最も多い43.7%で、次いで「1人」の31.0%となっています。第1子のピークは26・27歳、第2子のピークが30歳、第3子のピークは31・32歳となっており、若いうちに出産をすると多産である傾向にあるといえそうです。

理想とする子どもの数は「3人」が最も多い50.9%でした。現実には「1人」の子どもがいる人に、理想とする子どもの数が少ない理由を伺うと、「出産や子育てに費用がかかる」という人が最も多く48人でした。現実には「2人」の子どもがいる人に、理想とする子どもの数より少ない理由を伺うと、同様に「出産や子育てに費用がかかる」が最も多い71人となっていて、子育てや教育にかかる金銭的な面が障壁になっているといえます。

※1...国立社会保障・人口問題研究所〈結婚と出産に関する全国調査〉「第15回出生動向基本調査（2015年）」

※2...宮崎県「結婚・子育て意識調査（2014年）」

< 参考 > アンケート項目一覧

- 問 1. あなたの性別を教えてください。
- 問 2. あなたの年齢を教えてください。
- 問 3. あなたの主たる職業を教えてください。
- 問 4. あなたの働き方を教えてください。
- 問 5. あなたのおよその年収を教えてください。

(1) 独身者限定

- 問 6. あなたの結婚の予定、意向について教えてください。
- 問 7. 今、交際相手はいますか。
- 問 8. あなたが独身である理由を教えてください。
- 問 9. 良い相手に出会うために心掛けていることはありますか。
- 問 10. 結婚することは、何か利点があると思いますか。
- 問 11. 結婚する相手とは、どのような機会、場所で出会いたいですか。
- 問 12. 婚活イベントに参加したいですか。
- 問 13. 婚活イベントに参加したくない、興味がない理由を教えてください。
- 問 14. 主な休日の過ごし方を教えてください。
- 問 15. 同年代の人と趣味などを通じて、交流できる場があれば参加したいですか。
- 問 16. どのようなジャンルの活動に参加したいですか。
- 問 17. 結婚を希望する人に対して、どのような取り組みが有効だと思いますか。

(2) 既婚者限定

- 問 6. 現在、結婚何年目ですか。
- 問 7. 配偶者と出会ったきっかけを教えてください。
- 問 8. 配偶者と結婚した決め手を教えてください。
- 問 9. 結婚（入籍）するまで配偶者と交際した期間を教えてください。
- 問 10. あなたはお子さんがいらっしゃいますか。
- 問 11. 現在、何人お子さんがいらっしゃいますか。
- 問 12. 第 1 子の出産年齢（出産された方の年齢）を選択してください。
- 問 13. 第 2 子の出産年齢（出産された方の年齢）を選択してください。
- 問 14. 第 3 子の出産年齢（出産された方の年齢）を選択してください。
- 問 15. あなたは、子どもを「理想」で何人くらい欲しいですか。
- 問 16. 現実にいらっしゃる子どもの数が、理想とする子どもの数より少ない理由を教えてください。
- 問 17. あなたはどの程度、家事・育児を行っていますか。
- 問 18. 家事・育児の分担に満足していますか。
- 問 19. 夫・妻でどの程度家事・育児を分担していますか。

都城市総合政策部総合政策課

T E L 0986-23-7161

F A X 0986-23-2675